

京丹波町映画等口ヶ地倉庫新築工事

設計図

建築図				構造図				電気設備図				機械設備図			
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	
01	A-01	表紙、図面リスト	—	23	A-23	建具表	1/100	28	S-01	構造特記仕様書(1)	—				
02	A-02	特記仕様書-1	—	24	A-24	外構配置図	1/200	29	S-02	構造特記仕様書(2)	—				
03	A-03	特記仕様書-2	—	25	A-25	敷地縦断面図-1(現況図)	1/100	30	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	—				
04	A-04	特記仕様書-3	—	26	A-26	敷地縦断面図-2(造成後)	1/100	31	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	—				
05	A-05	特記仕様書-4	—	27	A-27	敷地横断面図(現況図 造成後)	1/200	32	S-05	鉄骨工作標準図(1)	—				
06	A-06	特記仕様書-5	—					33	S-06	鉄骨工作標準図(2)	—				
07	A-07	特記仕様書-6	—					34	S-07	H形鋼継手標準図	—				
08	A-08	特記仕様書-7	—					35	S-08	ベースバック柱脚工法標準図1/2	—				
09	A-09	敷地面積算定表	1/200					36	S-09	ベースバック柱脚工法標準図2/2	—				
10	A-10	建築面積・床面積 求積図、面積表	1/100					37	S-10	ボーリング柱状図	—				
11	A-11	仮設計画図	1/200					38	S-11	テノコラム地業特記仕様書	—				
12	A-12	配置図(現況図)	1/200					39	S-12	基礎・1階床梁伏図	1/100				
13	A-13	配置図	1/200					40	S-13	中間階床梁伏図	1/100				
14	A-14	仕上表	—					41	S-14	R階床梁伏図	1/100				
15	A-15	平面図	1/100					42	S-15	軸組図(1)	1/100				
16	A-16	平面図(参考図)	1/100					43	S-16	軸組図(2)	1/100				
17	A-17	屋根伏図	1/100					44	S-17	基礎リスト	1/30				
18	A-18	立面図-1	1/100					45	S-18	鉄筋コンクリート部材リスト	1/30				
19	A-19	立面図-2	1/100					46	S-19	鉄骨部材リスト	1/30				
20	A-20	断面図	1/100					47	S-20	加構詳細図(1)	1/30				
21	A-21	矩計詳細図-1	1/30					48	S-21	加構詳細図(2)	1/30				
22	A-22	矩計詳細図-2	1/30					49	S-22	シャッター取付詳細図	1/30				

COA

有限会社 コア建築事務所

TITLE	京丹波町映画等口ヶ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA	有限会社 コア建築事務所	NO.	01
NAME	表紙、図面リスト		SCALE	/	CHECK	PLAN	DRW	A-01

建築工事特記仕様書		章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項
【1】 工 事 概 要 1. 工 事 場 所 京都府船井郡京丹波町安井寺西 地内 2. 敷 地 面 積 1,236.21 m ² 3. 建築物概要 棟 名 構 造 階 数 建築面積 (m ²) 延べ面積 (m ²) 備 考 倉庫 鉄骨造 1階 593.88 605.88 4. そ の 他 外構工事 (敷地造成工事) 期工事有り 【2】 適 用 範 囲 現場説明書 (質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。 すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。 上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (平成28年版)をいう。(以下、これを「標仕」という。) 本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。 【3】 工 事 区 分 設計図書による。 別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。 【4】 工 事 仕 様 1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2.項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 3.特記事項は、 印の付いたものを適用する。 印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。 印と 印の付いた場合は、共に適用する。 印が抹消された場合は、 印のみ適用する。 4.項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。	1 一般共通事項 ③特別な材料の工法 設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 ④風圧力及び積雪に対する性能 (8.4.3、8.5.3) (10.5.3) (13.2.3~13.4.3) ⑤現場代理人 ⑥工事工程報告 月報は毎月末日に於て、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週 () 曜日に提出する。 ⑦工事実績情報の登録 (1.1.4) ⑧設備工事との取合い ⑨施工図等の取扱い (1.2.3) ⑩工事写真 (1.2.4)	1 一般共通事項 14 発生材の処理等 (FAS) 処理形成板) 処理を行う範囲 図示 (仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認 記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 (3) アスベスト成形板使用数量の確認 (4) 施工範囲等の確認 確認方法 成形板の製造年等の確認 X線解析法 処理方法 「非飛散性FAS」廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従い、あらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分を行うこと。 ⑮技能士 (1.5.2)	1 一般共通事項 16 化学物質の濃度測定 (1.5.9) ⑰完成図 (1.7.2) ⑱保全に関する資料 (1.7.3) 20 中長期保全計画書 2 仮設工事 ①足場その他 (2.2.4)	3 仮設工事 2 監督職員事務所 (2.3.1) ③工事用水 ④工事用電力 ⑤仮囲い等 ⑥設計 G L ①埋め戻し及び盛土 (3.2.3) ②建設発生土の処理 (3.2.5) 3 山留めの撤去 (3.3.3)	規模 10m程度 20m ² 程度 35m ² 程度 65m ² 程度 100m ² 程度 仕上 床 合板張り素地 ビニル床シート敷き バンパケット敷き 内壁、天井 合板又はせつこうボード張り、合成樹脂FRPボード塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼合板塗り 休憩室 設けない 設ける (敷敷き) 備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類カ (上記6品、 1人分程度) 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除具 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 標仕 (平成25年版) 建築工事監理指針 (平成25年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図 (平成22年版) 工事写真の撮り方(改訂3版)建築編 構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償) 構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償) 図示による 図示による 設計 G L = 現状 G L A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め 建設発生土 (盛土材) の外部からの受入土量 (m ³) 発生場所 () 下記に定めるほかは、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所 (一財)城隍山砂利採取地整備公社 土壌調査 行う (受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 構内指示の場所に敷き均し (隣接する町地へ移動敷き均し、小運搬は見込むこと) 構内指示の場所にたい積 構外搬出適切処理 中丹東土木事務所管内及び丹後土木事務所管内で、 搬出土量が少量 (5.0 m ³ 以内) かつ緊急の場合等 撤去する 在置する	1 一般共通事項 ①適用基準等 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 平成28年版 (監修:国土交通省) 建築工事標準詳細図 平成22年版 (監修:国土交通省) 敷地調査共通仕様書 平成23年版 (監修:国土交通省) 建築鉄骨設計基準及び同解説 平成10年版 (監修:建設大臣) 公共建築改修工事標準仕様書 平成25年版 (監修:国土交通省) 公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 平成28年版 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 平成28年版 (監修:国土交通省) (注:監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を、「建設大臣」は建設大臣官房官庁営繕部を示す) ②建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿 (最新版)」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとする。 (評価名簿によるもの) 床型枠用鋼製デッキプレート (フラット)、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材 (フレックス形、現場調合形)、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保土材 (防水立上部)、陶磁器質タイル、既製調合モルタル (タイル工用)、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材 (排水用)、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類 (シリンダ錠、バネ錠、シリンダ錠)、クローザー類 (ドアガード、ヒンジガード、ドア錠)、自動扉機構 (制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置)、自閉式上吊り引戸機構 (手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、オートバードア、ガラスドア板ガラス、型板ガラス、網入板ガラス、線入板ガラス、熱線吸収ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス)、ガラスブロック (中空)、防水剤、現場発泡断熱材、7000、5000)、可動間仕切、移動間仕切 (スライドドア)、トイレブース、煙突成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム (屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム)、トップライト、エボキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鏡鉄製ふた (マンホールふた・弁拵ふた)	TITLE 京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図 DATE 2017年3月 NAME 特記仕様書-1 SCALE / CHECK PLAN DRW NO. 02 A-02

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項		
5	鉄筋工事	①鉄筋の種類 (5.2.1)	6 コンクリート工事	⑦型枠(せき板) (6.2.5) (6.8.2) (6.8.3)	合板の規格 「合板の日本農林規格」の「コクリ-型枠用合板の規格」による合板 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ(mm) 12	7 鉄骨工事	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)	セットの種類 1類(F8T相当) 摩擦面の処理 プラスト処理(表面相度50μmRz以上) リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 すべり耐力試験 試験方法等 図示による	7 鉄骨工事	⑰錆止め塗料 (7.8.3) (18.3.2)	塗料の種類 鉄鋼面の錆止め塗料 表18.3.1による A種 B種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表18.3.2による A種 B種 C種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 表18.3.1による A種 B種 耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う		
		②溶接金網 (5.2.2)		網目の形状、寸法 100×100 鉄線の径 6 mm	打放し仕上げのせき板 合板せき板を用いる場合 (表6.2.4)		⑥普通ボルト (7.2.3)	ボルト径 図示による		①補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.4)	ブロックの種類 16(C種)普通ブロック 16-W(C種)防水ブロック コンクリートの設計基準強度 $F_o(N/mm^2)$ 充填用及びまくさ 21以上 上記以外 21以上 各部の配筋 図示による		
		③鉄筋の継手 (5.3.4) (5.5.2) (5.5.3)		部 位 接 合 方 法 径(mm) 重ね継手の長さ 柱・梁の主筋 重ね継手 ガス圧継手 D19以上 標仕表5.3.2による 機械式継手 溶接継手 その他 重ね継手 ガス圧継手 D16以下 構造図による 機械式継手 溶接継手	合板せき板を用いない場合 せき板の種類		⑦ターンバックル (7.2.6)	鋼の種類 割枠式 パイプ式 ボルトの種類 羽子板ボルト 両ねじボルト アイボルト		2 コクリ-トの吹付壁及びびり (8.3.2)	ブロックの種類 (表8.3.1)	適用箇所 種類 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塙 空洞ブロック 16 外壁の化粧積み 空洞ブロック 16-W 各部の配筋 図示による 珪化珪ブロック () ブロック塙の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 $F_o(N/mm^2)$ 18以上	
		④鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)		塩害を受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。	スリーブの材種 (表6.8.1)		⑧デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	材質、形状及び寸法 図示による		3 A L Cパネル (8.4.2) (8.4.5)	パネルの種類 (表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4)	種類 単位荷重(N/m ²) 厚さ(mm) 構造 耐火性能 外壁用 1180 1960 100 A種 有り(時間) B種 無し 間仕切用 640 100 C種 E種 有り(時間) D種 無し 屋根用 980 100 F種 有り(時間) 無し 床用 2350 3530 100 F種 有り(時間) 150 無し	
		⑤圧接完了後の試験 (5.4.9)		機械式継手及び溶接継手のあき 試験方法 超音波探傷試験 引張試験	外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 図示による 2.0mm ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 図示による		⑨工作図 (7.3.2)	高力ボルト、普通ボルトのグ、リ、アキ等 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)		4 押出成形平板(ECP) (8.5.2) (8.5.4)	種類 無石綿タイプ(タイプ) 施工箇所 表面形状 厚さ(mm) 工法 耐火性能 外壁 フラットパネル 3 5 A種 有り デザインパネル(図示) 5 0 B種 (時間) タイルベースパネル 6 0 無し 間仕切用 フラットパネル 3 5 B種 有り デザインパネル(図示) 5 0 C種 (時間) タイルベースパネル 6 0 無し		
6	コンクリート工事	①コンクリートの種類 (6.2.1)	7 鉄骨工事	⑨コンクリートの試験 (6.9.2) (6.9.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する	15 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3)	14 耐火被覆 (7.9.2) (7.9.7)	種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) 耐火材吹付け 乾式吹付ロックウール 適用箇所(部位・部分) 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール 耐火板張り 繊維混入ケイ酸カルシウム板 耐火材巻付け 高断熱ロックウール 双張り珪砂塗り - 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 適用箇所(部位・部分) 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火	9 防水工事	③セメントの種類 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA 高炉セメントのB種(適用箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種(適用箇所)	①アスファルト防水 (9.2.2) (9.2.5)	(表9.2.3)~(表9.2.9) 種 別 防水層 施工箇所 保護防水 A-1 A-2 A-3 表9.2.3 A1-1 A1-2 A1-3 表9.2.4 B-1 B-2 B-3 表9.2.5 B1-1 B1-2 B1-3 表9.2.6 露出防水 D-1 D-2 D-3 表9.2.7 D-4 表9.2.8 D1-1 D1-2 表9.2.8 屋内防水 E-1 E-2 表9.2.9 断熱材(保護防水断熱工法) 厚さ mm 材質 A種押出法 [※] リソリフォーム保温材の保温板3種b(2枚あり) (ただし、特定フロンを含まないものとする。) 断熱材(露出防水断熱工法) 厚さ mm 材質 A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号(JIS A 9511) (ただし、透湿係数を除く規格に適合するものとする。) ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15(保護防水工法) フラットヤンクロス(70g/m ² 程度)(保護防水断熱工法) 押入金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上り部の保護 乾式保護材 普通れんが 化粧れんが 保護層 平場のコンクリート厚さ mm こて仕上げ mm 床タイル張り等仕上げ mm 屋上排水溝 図示による
		②コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.14.1)		設計基準強度(F_c) 打設部位 $F_c(N/mm^2)$ スランプ(cm) 備考 構造体 基礎 2.1 1.5 1.8 上部 2.1 1.5 1.8 土間スラブを含む 土間コンクリート 1.8 1.5 1.8 側溝・犬走り 捨コンクリート 1.8 1.5 1.8 軽量コンクリート 2.1 1.5 1.8 無筋コンクリート 1.8 1.5 1.8 標仕6.14.1による	⑩軽量コンクリート (6.10.1)		常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種別 1種 2種 施工箇所 所要気乾単位容積質量 t/m ³	①13 耐火被覆 (7.9.2) (7.9.7)		種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) 耐火材吹付け 乾式吹付ロックウール 適用箇所(部位・部分) 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール 耐火板張り 繊維混入ケイ酸カルシウム板 耐火材巻付け 高断熱ロックウール 双張り珪砂塗り - 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 適用箇所(部位・部分) 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火			
		③セメントの種類 (6.3.1)		普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA 高炉セメントのB種(適用箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種(適用箇所)	⑪寒中コンクリート (6.12.1)		予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第1.1節(寒中コンクリート)による。	②施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)		①鉄骨の製作工場 (7.1.3)	監督職員の承諾する工場 建築基準法第7条の5第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(SHMRJ)グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場もしくは同等以上の能力のある工場 適用する 適用しない		
		④骨材 (6.3.1)		粗骨材 砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂(JIS A5308)、砕砂(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A(無害)	⑫暑中コンクリート (6.12.2)		暑中における構造体強度補正值(S) 地域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補正值 北地域 7月1日~8月31日 6N/mm ² 中部地域 7月21日~8月31日 3N/mm ² 南地域 7月1日~9月10日	③鋼材の種類 (7.2.1)		②施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	②鋼材の種類 (7.2.1)	材質、形状及び寸法 図示による	
		⑤混和材料 (6.3.1)		混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種(JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ(JIS A 6204)種、種若しくは種 コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206) コンクリート用シリカフェューム(JIS A 6207) コンクリート用膨張材(JIS A 6202)	⑬マスコンクリート (6.13.2)		施工箇所 セメントの種類 中熟ポルトランドセメント 低熟ポルトランドセメント 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 普通ポルトランドセメントに混和材を混合したもの 混和材料 混和剤 AE減水剤又は高性能AE減水剤(JIS A 6204) 混和材 フライアッシュの種若しくは種(JIS A 6201)又は高炉スラグ微粉末の3000又は4000(JIS A 6206) スランプ 15cm以下	④高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)		④高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)	ボルトの区分 トルシア形高力ボルト JIS形高力ボルト ボルト径 図示による すべり係数試験 行わない 行う 試験方法等 図示による		
		⑥構造体強度補正值 (6.3.2)		気温による構造体強度補正值(S) (表6.3.2) 予想平均気温() 補正值 期 間 (打設日) 普通 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm ² 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm ² 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域(上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	⑭コクリ-トの初期-車の過積載防止対策等		受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる集計表を検査時に提出しなければならない。	⑤鉄骨の種類 (7.2.1)		⑤鉄骨の種類 (7.2.1)	材質、形状及び寸法 図示による		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項										
9	2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) ~ (9.3.4)	種別 (表9.3.1)~(表9.3.3)	10	2 テラソ張り (10.2.1)	種石の種類 種石の大きさ 形状・寸法等 表面仕上げ	11	5 張付け用材料 (11.3.3)	接着剤のホルムアルデヒド放数量 F	12	7 床張り用合板 (12.2.1)	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 造作用単板積層材										
		種別			種石の種類							施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	表面の品質	防虫処理				
		AS-T1 AS-T2 AS-J1			表9.3.1								カラー			表面化粧加工なし					
		AS-T3 AS-T4 AS-J2			表9.3.2								シルバー			1等 2等 3等					
		AS1-T1 AS1-J1			表9.3.3											表面化粧加工あり	天然木化粧加工 塗装加工				
3 合成高分子系 ルーフシート防水 (9.4.2) ~ (9.4.4)	種別 (表9.4.1)~(表9.4.2)	10	3 壁の石張り工法 (10.2.2) (10.2.3) (10.3.3) (10.4.3) (10.5.3)	外壁石張り 工法 外壁湿式工法 (流し流工法 あと施工フカ工法 あと施工フカ-構部流し工法) 受金物の材質、形状及び寸法 乾式工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 (スライド方式 ロッキング方式)	11	6 陶磁器質タイル 型枠先付け (11.4.2) (11.4.3)	1 揮発性有機化合物 対策 (12.2.1) (12.2.2)	材料(集成材、合板等)のホルムアルデヒド放数量 表示がある場合 F 表示がない場合 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 (塗装していないもの) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 (塗装したもの) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 (化粧加工したもの)	7 床張り用合板 (12.2.1)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 造作用単板積層材											
	種別										種石の種類	施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	表面の品質	含水率	防虫処理			
	S-F1 PC部材入隅増強(有り無し)										表9.4.1		カラー			表面化粧加工なし	14%以下				
	S-F2 S-M1 S-M2 S-M3												シルバー			表面化粧加工あり					
	SI-F1 PC部材入隅増強(有り無し)										表9.4.2		(露出の場合)			天然木化粧加工	塗装加工				
4 塗膜防水 (9.5.3)	種別 (表9.5.1)~(表9.5.2)	10	4 床及び階段の 石張り (10.6.2) (10.6.3)	内壁石張り 工法 内壁空積工法 (あと施工アンカー-構部流し工法 あと施工アンカー-工法) 乾式工法 (スライド方式 ロッキング方式)	11	12	2 表面仕上げ (12.1.4)	表面仕上げの程度 A種 B種 C種 D種 (表12.1.1)	7 床張り用合板 (12.2.1)	普通合板											
	種別										種石の種類	施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理		
	X-1										表9.5.1		カラー				1類	広葉樹	防虫処理		
	X-2												シルバー				2類	2等以上	難燃処理		
	Y-1										表9.5.2	地下外壁防水	カラー				特類	C-D以上	防炎処理		
5 刈酸質系塗布防水 (9.6.3)	種別 (表9.6.2)	10	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	アーチ、上げ裏等 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付金物 石の厚さ 裏面及び裏打ち処理 目地 伸縮調整目地位置 シーリング材の目地寸法	11	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」による製材 (表12.2.2)	8 防腐、防蟻及び 防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2)	13	①性能											
	種別										種石の種類	施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理		
	C-UI										表9.6.2										
	C-UP																				
6 漏水試験	水張り試験を行う (屋内 屋外)	10	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	アーチ、上げ裏等 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付金物 石の厚さ 裏面及び裏打ち処理 目地 伸縮調整目地位置 シーリング材の目地寸法	11	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2)	8 防腐、防蟻及び 防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2)	13	②2 長尺金属板 (13.2.2) (13.2.3)											
	種別										種石の種類	施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理		
7 保証書	受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事的物引渡日より10年間以上とする。)	10	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	アーチ、上げ裏等 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付金物 石の厚さ 裏面及び裏打ち処理 目地 伸縮調整目地位置 シーリング材の目地寸法	11	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2)	8 防腐、防蟻及び 防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2)	13	③折板葺 (13.3.2)											
	種別										種石の種類	施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理		
8 施工標識	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 箇所	10	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	アーチ、上げ裏等 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付金物 石の厚さ 裏面及び裏打ち処理 目地 伸縮調整目地位置 シーリング材の目地寸法	11	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2)	8 防腐、防蟻及び 防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2)	13	④5 とい(雨水) (13.5.2) (13.5.3)											
	種別										種石の種類	施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理		
⑨シーリング (9.7.2) (9.7.3) (9.7.5)	シーリング材の種類 表9.7.1による	10	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	アーチ、上げ裏等 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付金物 石の厚さ 裏面及び裏打ち処理 目地 伸縮調整目地位置 シーリング材の目地寸法	11	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2)	8 防腐、防蟻及び 防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2)	13	⑤6 保証書											
	目地寸法										コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 幅20mm以上、深さ10mm以上	種別	種石の種類	施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理
	ガラス回りの目地										幅5mm以上、深さ5mm以上										
	その他の目地										幅10mm以上、深さ10mm以上										
	シーリングの試験										簡易接着性試験 (部位) 引張接着性試験 (部位)										
10 止水板	材質 形状 差込式 据置式 壁張り式 適用範囲	10	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	アーチ、上げ裏等 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付金物 石の厚さ 裏面及び裏打ち処理 目地 伸縮調整目地位置 シーリング材の目地寸法	11	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2)	8 防腐、防蟻及び 防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2)	13	⑥保証書											
	種別										種石の種類	施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理		
10	1 天然石張り (10.2.1)	石の品質 床用石材 1等品 2等品 壁及びその他の石材 1等品 2等品	10	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	アーチ、上げ裏等 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付金物 石の厚さ 裏面及び裏打ち処理 目地 伸縮調整目地位置 シーリング材の目地寸法	11	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2)	8 防腐、防蟻及び 防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2)	13	⑥保証書										
		種別										種石の種類	施工箇所	仕上塗料	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理	
10	1 天然石張り (10.2.1)	石の種類・表面仕上げ (表10.2.1)	10	5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.4)	アーチ、上げ裏等 取付工法 外壁湿式工法 内壁空積工法 乾式工法 取付金物 石の厚さ 裏面及び裏打ち処理 目地 伸縮調整目地位置 シーリング材の目地寸法	11	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2)	8 防腐、防蟻及び 防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2)	13	⑥保証書										
		施工箇所										種石の種類	種石の大きさ	形状・寸法等	表面仕上げ	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
14	1 一般事項 (14.1.3) 2 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1) 3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) 4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3) 5 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (14.4.4) 6 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) 7 金属成形板張り (14.6.3) 8 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3) 9 手すり (14.8.2) 10 タラップ及び丸環 (14.8.3) 11 天井点検口 12 床点検口 13 屋上点検口	あと施工アンカーの引抜き試験 行う (箇所以上、 ___N/箇所) 行わない	15 左官工事	1 モルタル塗り (15.2.2) ~ (15.2.5)	既製目地材 適用する (形状 _____) 床塗り 目地の設置 有り (押目地 _____) 無し 外壁タイル張り下地等の均しモルタル塗りの確認及び試験 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力試験 行う 行わない	15 左官工事	2 セルフレベリング材塗り (15.4.2)	種類及び品質は表15.4.1による せつこう系 セメント系 厚さ (mm) 10 15	16 建具工事	9 鋼製軽量建具 (16.5.2) ~ (16.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 _____) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 _____) 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 _____) 鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 ステンレス鋼板 鋼板類の厚さ 表16.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) _____mm
		3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)		種類 種類 施工箇所 (手すり、成形板、笠木、建具以外)	2 セルフレベリング材塗り (15.4.2)		種類及び品質は表15.4.1による せつこう系 セメント系 厚さ (mm) 10 15	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~ (16.6.4)		外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 (表16.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表16.4.1) 防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 _____) 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 _____) 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 _____) ステンレス鋼板 JIS G 4305 ステンレス鋼板 (屋外) SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス鋼板 (屋内) SUS304 SUS430J1L SUS443J1 SUS443J1 SUS430 JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は仕様による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ H L 仕上げ 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	
		4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)		表面処理方法 種類 別 試験 施工箇所 溶融亜鉛めっき A種 B種 C種 行う 手すり 門扉 電気亜鉛めっき D種 E種 F種 行う	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		内装塗材のホルムアルデヒド放散量 F	11 木製建具 (16.7.2)		建具材の含水率の種別 A種 B種 C種 代用樹種の適用 可 不可 フラッシュ戸 表面材の合板の種類及び品質等 _____ 表面板の厚さ 図示による _____ かまち戸 かまち及び鏡板の樹種 図示による _____ 見込み寸法 36mm _____ ふすま 上張りの種類 図示による _____ 見込み寸法 19.5mm _____ 戸ぶすま 見込み寸法 30mm _____ 紙張り障子 見込み寸法 30mm _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____	
		5 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (14.4.4)		野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表14.4.1) 屋外 19型 25型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 _____mm 屋外の周辺部の端からの寸法 _____mm 屋外の野縁の間隔 _____mm 屋外のはずれ留め補強 有り 無し 開口補強 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____ 天井のふとこの補強 (1.5m以上3m以下) 行う (3mを超える) 行う (図示による) _____	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	
		6 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)		野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表14.4.1) 屋外 19型 25型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 _____mm 屋外の周辺部の端からの寸法 _____mm 屋外の野縁の間隔 _____mm 屋外のはずれ留め補強 有り 無し 開口補強 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____ 天井のふとこの補強 (1.5m以上3m以下) 行う (3mを超える) 行う (図示による) _____	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	
		7 金属成形板張り (14.6.3)		形状 製法 材種 寸法 (mm) 表面処理 スパンドレル形 押出しロール アルミニウム製 板厚 _____ 板幅 _____ B-1 種 (無着色) B-2 種 (着色) C-1 種 (無着色) C-2 種 (着色) D 種 パネル形 プレス	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	
		8 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3)		種類 板厚 (mm) 表面処理 備考 250 形 1.6 _____ 隅角部及び突当たり部等の役物は 300 形 1.8 _____ 本体製造の仕様による。 350 形 2.0 _____	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	
		9 手すり (14.8.2)		伸縮調整継手 設けない 設ける (施工箇所は図示)	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	
		10 タラップ及び丸環 (14.8.3)		建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法等 図示による _____	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	
		11 天井点検口		材料 種類 ステンレス製SUS304 (表面処理 2 D 程度) _____	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	
		12 床点検口		アルミニウム製既製品 (450 × 450) 5 箇所 控室：4箇所、シャ-室通路：1箇所 アルミニウム製既製品 (600 × 600) _____ 箇所	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	
		13 屋上点検口		アルミニウム製既製品 (600 × 600) _____ 箇所 ステンレス製既製品 (600 × 600) _____ 箇所 鋼製マンホール蓋 _____ 型 _____ 箇所	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	
		14 屋上点検口		寸法 (mm) 600 500角 断熱材 有り 無し	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)		複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	12 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)		マスターキーの製作 作成する (1 グループ、各グループ 1 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 開き戸 (表16.8.1)	

TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	NO.	05
NAME	特記仕様書-4	SCALE	/	CHECK	PLAN
		DRW	A-05		

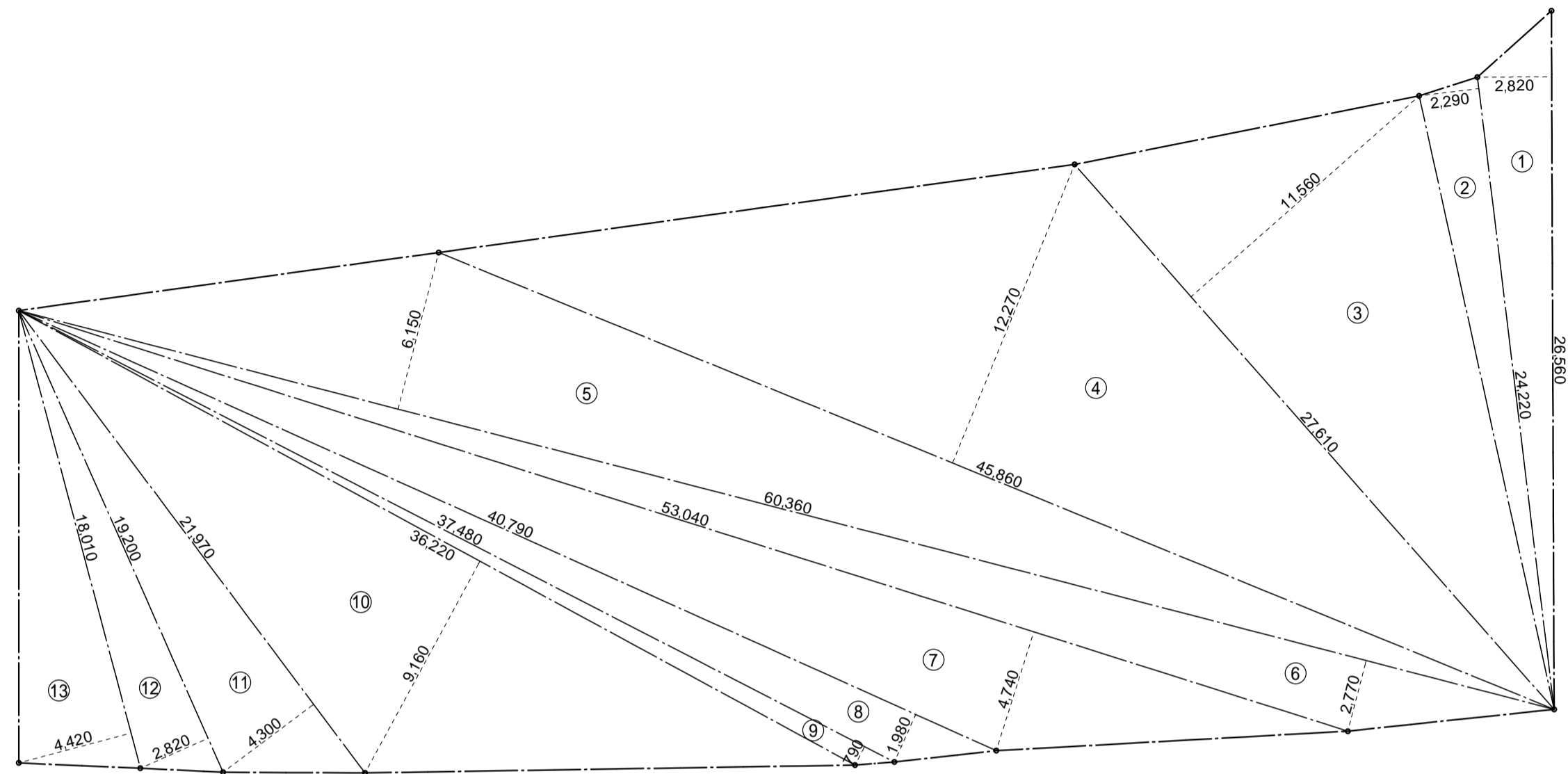
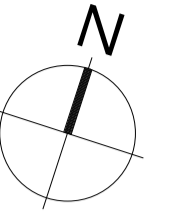
COA 有限会社 コア建築事務所

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項		
16 建具工事	引き戸 (表16.8.1)	金物の種類 見え掛り部の材質 その他	16 建具工事	⑮ ガラス留め材 (表16.14.2)	建具の種類 材 質	18 塗装工事	④ 錆止め塗料塗り (表18.3.1)~(表18.3.4)	錆止め塗料の種類	19 内装工事	7 防滑性床シート、床タイル (表19.2.2)	種 類 性 能 厚 さ (mm)		
		引戸用錠			木製建具の場合 :ツリダゲ-カ-等はアルス			アルミニウム製 シーリング材(SR-1) ガスケット グレイジングチャンネル			塗面 種別 屋外 屋内 規格名称 塗料種類 塗装工程種別 備考	防滑性床シート	
		クレセント			建具製作所の仕様による。			鋼製・軽量鋼製・ステンレス製 シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種			鉄鋼面	防滑性床タイル	
		引手類			取付位置 ()			木製 パテ(木製用)			見掛けり部分 A種 B種		
	戸車 (上吊りの場合を除く)		防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。	見隠れ部分 屋内EP-G塗	8 ビニル幅木 (表19.2.2)	種 類 寸 法 (mm) 厚 さ (mm)							
	レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス、 (アルミニウム合金 黄銅)	黄銅は木製建具用のみ	亜鉛めっき鋼面		軟質 硬質 60 75 100 1.5 2.0							
	12 自動ドア開閉装置 (表16.9.1)~(表16.9.3)	種類 開閉装置性能値 センサの種類 その他	19 ガラスブロック (表16.14.5)	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	20 ポリカーボネイト樹脂板	寸法(mm) 厚さ(mm) 色 調 パターン 防火認定	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)		工程の種別 (表18.4.1)~(表18.14.1)	10 カーベット敷き (表19.3.3)~(表19.3.4)	織じゅうたん	
	片引き	SSLD-1 表5.8.1				マトスイッチ クラッシュ				補助センサを併用する		記号 名 称 種 別	種 別
	引分け	DSDL-1 DSDL-2				光線スイッチ 押しボタンスイッチ						S O P 合成樹脂調合ペイント塗り	木部 屋内 A種 B種 屋外 A種 B種
	片開き	SND-1 SND-2 表5.8.2				熱線スイッチ 音波スイッチ 多機能トランス						C L クリヤラッカー塗り	鉄鋼面 A種 B種
13 自閉式上吊り引戸装置(表16.10.3)	凍結防止装置 設ける 設けない	17 カーテンウォール工事	1 性能 (表17.1.3)	20 ポリカーボネイト樹脂板	品質規格はJIS A 5212 による	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	記号 名 称 種 別	11 合成樹脂塗り床 (表19.4.2)~(表19.4.3)	タフテッドカーベット			
	性能値等の区分 (表16.10.1)				壁用金属枠及び補強材 力骨 材質 SUS304			記号 名 称 種 別			バイル形状 バイル長さ(mm) 工 法 帯電性 施 工 箇 所		
	適用戸の総質量(kg)				40以下			寸法・形状 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋			鉄鋼面	厚さ(mm) 帯電性 施 工 箇 所	
	手動開き力(N)				15以下			化粧目地モルタルの色			亜鉛めっき鋼面	タイルカーベット	
手動閉じ力(N)	15以下	金属製化粧カバー 材質 SUS304	伸縮調整目地の位置	上塗り	1級 ふっ素樹脂系等 2級 シリコン系等 3級 アルキル系等	種別 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施 工 箇 所							
14 重量シャッター (表16.11.2)~(表16.11.4)	性能等 品質・規格	17 カーテンウォール工事	2 メタルカーテンウォール (表17.2.2)~(表17.2.3)	20 ポリカーボネイト樹脂板	本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	記号 名 称 種 別	11 合成樹脂塗り床 (表19.4.2)~(表19.4.3)	下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm			
	種 類				一般重量シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度			耐風圧性			S 4 S 5 S 6	記号 名 称 種 別	種 別
	外壁用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度				耐震性			水平方向(KH) 1.0 鉛直方向(KV) 0.5			記号 名 称 種 別	種 別	
	屋内用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度				水密性			W 1 W 2 W 3 W 4 W 5			記号 名 称 種 別	種 別	
屋内用防煙シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度	気密性	A 1 A 2 A 3 A 4	材料	アルミニウム製	形状・寸法	図示による	記号 名 称 種 別	種 別	種 別	種 別			
開閉方式	上部電動式(手動併用) 上部手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。)	耐風圧強度	図示 30分 1時間	形状・寸法	図示による	断熱材	図示による	見え掛り仕上げ	A-1種(無着色) A-2種(着色)	見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による			
スラット及びシャッターケース用鋼板	材 質 めっきの付着量	17 カーテンウォール工事	3 PCカーテンウォール (表17.1.3)~(表17.3.2)~(表17.3.3)	20 ポリカーボネイト樹脂板	耐風圧性	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	記号 名 称 種 別	11 合成樹脂塗り床 (表19.4.2)~(表19.4.3)	厚膜型塗床材 (表19.4.2)~(表19.4.3)			
JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの				耐風圧性			S 4 S 5 S 6			記号 名 称 種 別	種 別	
JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの				耐震性			水平方向(KH) 1.0 鉛直方向(KV) 0.5			記号 名 称 種 別	種 別	
JIS G 3322	A290を満足するもの				水密性			W 1 W 2 W 3 W 4 W 5			記号 名 称 種 別	種 別	
15 軽量シャッター (表16.12.2)~(表16.12.4)	開閉方式	上部電動式(手動併用) 手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。)	4 シーリング材及びガラス取付材料 (表17.2.2)~(表17.3.2)	20 ポリカーボネイト樹脂板	気密性	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	記号 名 称 種 別	11 合成樹脂塗り床 (表19.4.2)~(表19.4.3)	エポキシ樹脂系塗床材 (表19.4.3)			
	耐風圧強度	図示			耐風圧性			S 4 S 5 S 6			記号 名 称 種 別	種 別	
	スラット	材 質 めっきの付着量 形状			耐震性			水平方向(KH) 1.0 鉛直方向(KV) 0.5			記号 名 称 種 別	種 別	
	JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの			水密性			W 1 W 2 W 3 W 4 W 5			記号 名 称 種 別	種 別	
16 オーバーヘッドドア (表16.13.2)~(表16.13.4)	開閉方式	バランス式 チェーン式 電動式 (電動式には保護装置を設ける。)	5 構造用ガスケット (表17.2.2)~(表17.3.2)	20 ポリカーボネイト樹脂板	断熱性	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	記号 名 称 種 別	11 合成樹脂塗り床 (表19.4.2)~(表19.4.3)	エポキシ樹脂系塗床材 (表19.4.3)			
	収納形式	スタンダード型 ローヘッド型			耐風圧性			S 4 S 5 S 6			記号 名 称 種 別	種 別	
	ガイドレール等	溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板			耐震性			水平方向(KH) 1.0 鉛直方向(KV) 0.5			記号 名 称 種 別	種 別	
	ガイドレール等	溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板			水密性			W 1 W 2 W 3 W 4 W 5			記号 名 称 種 別	種 別	
17 ガラス (表16.14.2)~(表16.14.4)	材料	種 別 種 類 等 種 別 種 類 等	18 塗装工事	20 ポリカーボネイト樹脂板	遮音性	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	記号 名 称 種 別	11 合成樹脂塗り床 (表19.4.2)~(表19.4.3)	エポキシ樹脂系塗床材 (表19.4.3)			
	加ト板ガラス	強化ガラス			断熱性			H 1 H 2 H 3 H 4 H 5			記号 名 称 種 別	種 別	
	型板ガラス	熱線吸収ガラス			遮音性			T 1 T 2 T 3 T 4			記号 名 称 種 別	種 別	
	網入板ガラス t6.8	複層ガラス			断熱性			H 1 H 2 H 3 H 4 H 5			記号 名 称 種 別	種 別	
線入板ガラス	熱線反射ガラス	遮音性	T 1 T 2 T 3 T 4	記号 名 称 種 別	種 別								
合わせガラス	倍強度ガラス	断熱性	H 1 H 2 H 3 H 4 H 5	記号 名 称 種 別	種 別								
18 ガラス溝の大きさ (表16.14.1)	種 別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代	18 塗装工事	① 塗装業者 (表18.1.3)	20 ポリカーボネイト樹脂板	日本塗装工業会の会員 監督職員の承諾する塗装業者	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	記号 名 称 種 別	11 合成樹脂塗り床 (表19.4.2)~(表19.4.3)	エポキシ樹脂系塗床材 (表19.4.3)			
	アルミニウム建具 表16.14.1				表16.14.1			表16.14.1			塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F	記号 名 称 種 別	種 別
	鋼製建具										素 地 種 別 備 考	記号 名 称 種 別	種 別
	ステンレス建具										木部 A種 B種 透明塗料の場合はB種とする	記号 名 称 種 別	種 別
19 熱線反射ガラスの映像調整 行わない 行う ()	種 別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代	18 塗装工事	② 塗装材料 (表18.2.1)~(表18.2.7)	20 ポリカーボネイト樹脂板	塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	記号 名 称 種 別	11 合成樹脂塗り床 (表19.4.2)~(表19.4.3)	エポキシ樹脂系塗床材 (表19.4.3)			
	アルミニウム建具 表16.14.1				表16.14.1			表16.14.1			鉄鋼面 A種 B種 C種	記号 名 称 種 別	種 別
	鋼製建具										亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 塗り工法に応じた部の規定による	記号 名 称 種 別	種 別
	ステンレス建具										モルタル及びプラスター面 A種 B種 C種	記号 名 称 種 別	種 別
20 熱線反射ガラスの映像調整 行わない 行う ()	種 別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代	18 塗装工事	③ 素地ごしらえ (表18.2.1)~(表18.2.7)	20 ポリカーボネイト樹脂板	素 地 種 別 備 考	19 内装工事	⑤ 塗装工程 (表18.4.1)~(表18.4.14)	記号 名 称 種 別	11 合成樹脂塗り床 (表19.4.2)~(表19.4.3)	エポキシ樹脂系塗床材 (表19.4.3)			
	アルミニウム建具 表16.14.1				表16.14.1			表16.14.1			木部 A種 B種 透明塗料の場合はB種とする	記号 名 称 種 別	種 別
	鋼製建具										鉄鋼面 A種 B種 C種	記号 名 称 種 別	種 別
	ステンレス建具										亜鉛めっき鋼面 A種 B種 C種 塗り工法に応じた部の規定による	記号 名 称 種 別	種 別

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項									
19	内装工事 15 せっこうボード、 その他ボード 及び合板張り (19.7.2)	種別 表19.7.1によるJIS規格品とする (表19.7.1)	20 ユニット及びその他の工事 3 可動間仕切 (20.2.3)	種別	H' 扉内に取付ける建具	20 ユニット及びその他の工事 14 カーテンレール (20.2.14)	材質 アルミニウム製 ステンレス製													
		種 類		規格、厚さ(mm)等	構造形式		構成基材	表面仕上	遮音性	遮音性	形式	片引き 引分け (暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。)								
		せっこうボード(GB-R)		12.5(不燃) 9.5(準不燃)	パネル式			メラミン樹脂又は		形状	C型 D型 角型									
		化粧せっこうボード(GB-D)		杉板様様 トラバーチン様様 (経路下地は専用のものとする)	12.5(不燃)		スタッ式	アクリル樹脂焼付												
		不燃積層せっこうボード(GB-NC)		トラバーチン様様 模様なし	9.5(不燃)		ｽﾀｯﾄﾞﾊﾞ'式													
		シーキングせっこうボード(GB-S)		15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																
		強化せっこうボード(GB-F)		21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)																
		ロックウォール吸音ボード(RW-B)		25																
		グラスウォール吸音ボード(GW-B)		25																
		吸音あなきせっこうボード(GB-P)		9.5(準不燃)																
		ロックウォール化粧吸音板(DR)		内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立休模様 15(不燃) 12(不燃) 軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立休模様 15(不燃) 12(不燃)																
		けい酸カルシウム板(0.8FK)		タイプ2 (無石棉) 8.0 6.0																
		メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 1.2																
		難燃木毛セメント板		30 25 20 15																
		断熱木毛セメント板		30 25 20 15																
16	壁紙張り (19.8.2) (19.8.3)	普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種	表面材	メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 (標準色、アルミ製コーナーエッジ付き) ()	21 舗装工事 16 くつふきマット	材質	塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製 (SUS304) 受替) 硬質アルミニウム合金 (受替とも) ステンレス製 (SUS304) (受替とも) ゴム製 (ステンレス製 (SUS304) 受替)												
		(難燃処理 防炎処理)	板面の品質 防虫処理 行う	脚部	幅木型 足金物型		品質・規格													
		天然木化粧合板	厚さ 接着の程度	ヒンジ	グレピティーヒンジ															
		(難燃処理 防炎処理)	化粧板樹種 ならしおじ 防虫処理 行う	材種	ステンレス製 (SUS304) 幅 約35mm															
		特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法	形状	ビニルタイヤ入り 両端ﾌﾗｯﾄあり (ビニル SUS304)															
		(難燃処理 防炎処理)	表面性能 F F W W WS 防虫処理 行う	取付工法	接着工法 埋込み工法															
		その他下張り用合板																		
		軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材																		
		アクリル系シーリング	ウレタン系シーリング	ジョイントコンパウンド																
		合板類の張付け																		
		A種 B種																		
		せっこうボードの目地処理																		
		目透かし 突付け 縫目処理																		
17	天井廻り線 18 断熱・防露 (19.9.2) (19.9.3)	防火性能・品質・規格・施工箇所	図示による 下表による	種 類	寸法(mm)	色彩	備考	22 23 非常用救助袋等	材種	ステンレス製 (SUS304) H L 仕上 径 (仕様は金属工事参照)	22 23 非常用救助袋等	材種	ステンレス鋼 (SUS304) (市販品 1箇所 箇所)							
		防火性能	品質・規格	流し台		黒	曲面		形式	傾斜式 垂直式		品質・規格		品質・規格						
		施行箇所	防火性能	コンロ台		白	曲面		品質・規格			市販品	形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
				吊戸棚					法令に基づく表示				形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
				水切り棚					法令に基づく表示				形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
									非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。				形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
													形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
													形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
													形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
													形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
													形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
													形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
													形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
													形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
													形式	約下式 差込式 (30 60 120) 組用 () 個	品質・規格					
20	ユニット及びその他の工事 1 家具、工材等の揮発性有機化合物対策 2 フリーアクセスフロア	収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板、化粧合板、MDF等のホルムアルデヒド等の放散量 F		厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型	24 25 定礎	煙突用成形ライニング材及びキャスタブル耐火材	最高温度 400 650	品質・規格								
		ホルムアルデヒド等の放散量 F		厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格			品質・規格							
		ホルムアルデヒド等の放散量 F		厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格			品質・規格							
		含まれる可塑剤、フタル酸エステル等を含有しない、難揮発性のもの		厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格			品質・規格							
		建設技術評価制度「耐震型7-70の開発」の技術評価を取得した製品とする。		厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格			品質・規格							
		施工箇所	寸法	フロア高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗						品質・規格						
														品質・規格						
														品質・規格						
														品質・規格						
														品質・規格						
														品質・規格						
														品質・規格						
														品質・規格						
														品質・規格						
														品質・規格						
21	排水工事 1 排水管 (21.2.1) (21.2.3) 2 側溝、排水樹及ふた (21.2.2)	種別	表21.2.1による呼び名	厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型	26 27 旗ポール	間知石の材種	花こう岩	品質・規格								
		種 類	管の種類	厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		間知石の形状	長方形 正方形 六角形 H型	品質・規格						
		呼び径	呼称	厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		質量区分	ブロックA ブロックB	品質・規格						
		基礎の厚さ		厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		再生クラッシャーラン	再生クラッシャーラン	品質・規格						
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		練積みの工法	谷積み 布積み (目張り 行う)	品質・規格						
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		伸縮目地材の材種、厚さ		品質・規格						
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		種類	花こう石類 (文字記号入り) ｺﾝｸﾘｰﾄ'ﾌﾟｯｸ(市販品)	品質・規格						
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		形式	材 質	柱径・肉厚(mm) 高さ(mm)	品質・規格					
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		上下式鎖内蔵型 (ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ付)	ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ製 (SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850	品質・規格				
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		基礎	無筋コンクリート造 350 x 350 H250程度			品質・規格				
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		表面仕上等	種 類	門扉の仕様			品質・規格			
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		亜鉛めっき	樹脂塗装	メｯｼﾞﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ	ｲｸｽ'ﾌﾞ'ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ	片開き		品質・規格		
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格		ビニル被覆	ﾓﾉﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ		両開き		品質・規格		
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格									品質・規格	
				厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型		品質・規格										品質・規格
		厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式	5	アクリル板	シルク印刷	平付型	品質・規格										品質・規格			

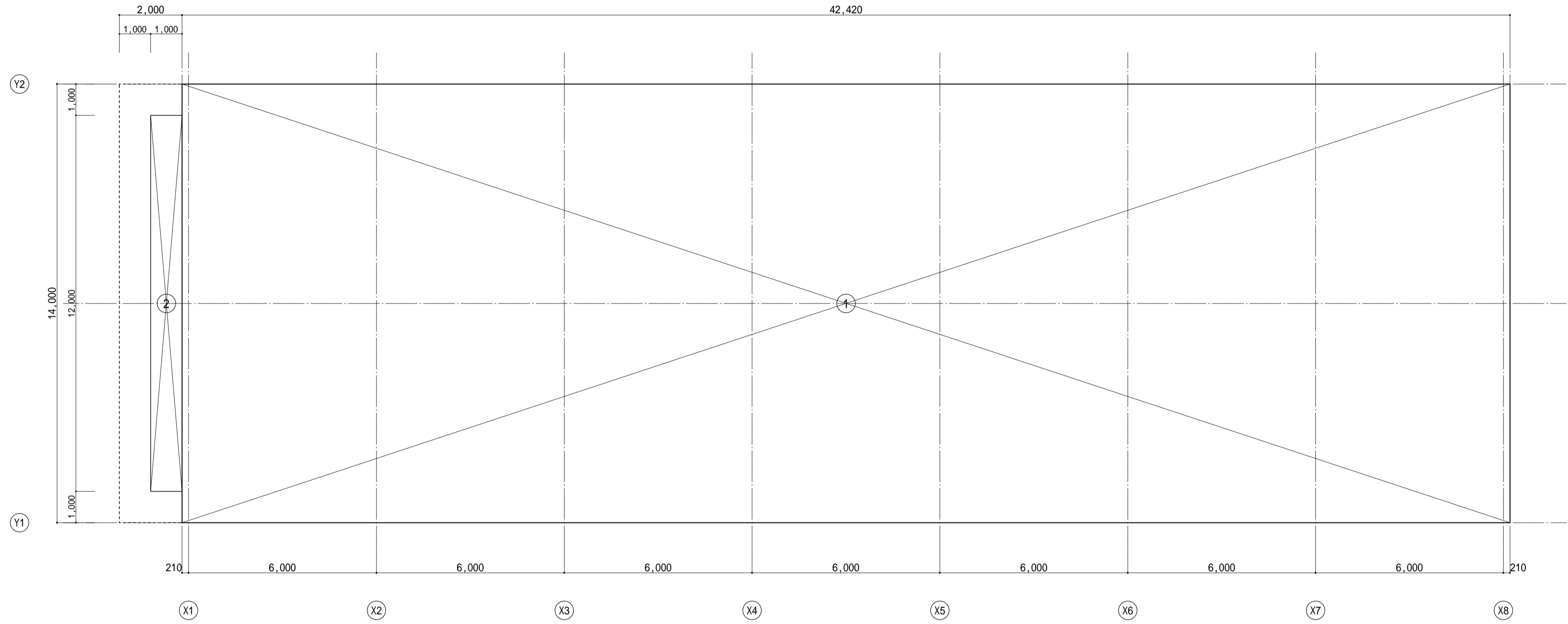
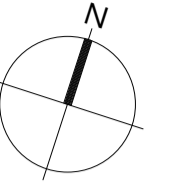
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																			
22	舗装工事	5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	<table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>部 位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>加熱系アスファルト混合物</td> <td></td> <td>車道部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添加剤</td> <td>着色骨材 自然石</td> <td>歩道部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結合材</td> <td>アスファルト 石油樹脂 (添加量 _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物等の抽出試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>適用する</td> <td>適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車道部の基層</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>適用する</td> <td>適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の厚さ</td> <td>車道部(基層なし) _____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>車道部(基層あり) _____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>歩道部 _____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温系樹脂系混合物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温系シート工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>常温系塗布工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種	類	部 位	配合その他	加熱系アスファルト混合物		車道部		添加剤	着色骨材 自然石	歩道部		結合材	アスファルト 石油樹脂 (添加量 _____)			アスファルト混合物等の抽出試験				適用する	適用しない			車道部の基層				適用する	適用しない			舗装の厚さ	車道部(基層なし) _____ mm				車道部(基層あり) _____ mm				歩道部 _____ mm			常温系樹脂系混合物				常温系シート工法				常温系塗布工法				23	植栽及び屋上緑化工事	5 屋上緑化 (23.5.2) ~ (23.5.4)	屋上緑化システム 排水層 軽量骨材 (厚さ _____) 板状成形品 土壌層 改良土 (厚さ _____) 人工軽量土 (厚さ _____) 屋上緑化軽量システム 樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 芝・地被類の種類 図示による コウライシバ (目地張り _____) ノシバ (目地張り _____) セダム類 (カット ふるい プラグ苗 _____) 材料 見切材 _____ 舗装材 _____ 水抜き管 _____ 排水材 _____ かん水装置 設置する (_____) 設置しない 支柱材 設置する 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太 _____ 設置しない 引渡しの日から1年 引渡しの日から _____年	種 類	寸 法	数 量	備 考								
		種	類	部 位	配合その他																																																																						
		加熱系アスファルト混合物		車道部																																																																							
		添加剤	着色骨材 自然石	歩道部																																																																							
		結合材	アスファルト 石油樹脂 (添加量 _____)																																																																								
		アスファルト混合物等の抽出試験																																																																									
		適用する	適用しない																																																																								
		車道部の基層																																																																									
		適用する	適用しない																																																																								
		舗装の厚さ	車道部(基層なし) _____ mm																																																																								
	車道部(基層あり) _____ mm																																																																										
	歩道部 _____ mm																																																																										
常温系樹脂系混合物																																																																											
常温系シート工法																																																																											
常温系塗布工法																																																																											
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																								
6 透水性舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	舗装構成及び厚さ 図示による 舗装厚さの試験 行う 行わない 透水性アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない	6 新植、移植樹木、 芝等の枯補償 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7) (23.5.5)																																																																									
7 排水性舗装 (22.8.2) ~ (22.8.6)	舗装構成及び厚さ 図示による 舗装厚さの試験 行う 行わない アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない																																																																										
8 ブロック系舗装 (22.9.2) (22.9.3)	コンクリート平板舗装 <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>寸 法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>目 地</th> </tr> <tr> <td>普通平板(N)</td> <td>カラー平板(C)</td> <td>300角</td> <td>60</td> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>洗出平板(W)</td> <td>凝石(S)</td> <td></td> <td></td> <td>モルタル</td> </tr> </table> 品質・規格 _____ インターロッキングブロック舗装 <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>標準ブロック</td> <td>京ワゴン</td> <td>80</td> <td>標準品</td> </tr> <tr> <td>透水性ブロック</td> <td></td> <td>60 80</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植生ブロック</td> <td></td> <td>60 80 100</td> <td></td> </tr> </table> 品質・規格 _____ 舗石舗装 <table border="1"> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>規 格 品</th> </tr> <tr> <td>小舗石 (花崗岩)</td> <td></td> <td>80~100</td> <td>うろこ張り</td> <td>2等品</td> </tr> </table> 品質・規格 _____	種	類	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	目 地	普通平板(N)	カラー平板(C)	300角	60	砂	洗出平板(W)	凝石(S)			モルタル	種	類	厚 さ (mm)	色彩及び表面加工等	標準ブロック	京ワゴン	80	標準品	透水性ブロック		60 80		植生ブロック		60 80 100		種	類	厚 さ (mm)	工 法	規 格 品	小舗石 (花崗岩)		80~100	うろこ張り	2等品																																	
種	類	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	目 地																																																																							
普通平板(N)	カラー平板(C)	300角	60	砂																																																																							
洗出平板(W)	凝石(S)			モルタル																																																																							
種	類	厚 さ (mm)	色彩及び表面加工等																																																																								
標準ブロック	京ワゴン	80	標準品																																																																								
透水性ブロック		60 80																																																																									
植生ブロック		60 80 100																																																																									
種	類	厚 さ (mm)	工 法	規 格 品																																																																							
小舗石 (花崗岩)		80~100	うろこ張り	2等品																																																																							
9 砂利敷き (22.10.2)	通 路 A種 B種 建物周囲その他 A種 B種 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする																																																																										
10 白線引き	種 類 溶融式 ベイント式 幅 (cm) 15 _____																																																																										
23	植栽及び屋上緑化工事	1 植栽基礎整備 (23.2.2) (23.2.3)	行う <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整 備 範 囲</th> </tr> <tr> <td>12m以上</td> <td>100 120 150</td> <td>A種</td> <td>植込み部分</td> </tr> <tr> <td>7~12m未満</td> <td>80 100</td> <td>B種</td> <td>葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>3~7m未満</td> <td>60 80</td> <td>C種</td> <td>(樹高7m以上)</td> </tr> <tr> <td>3m未満</td> <td>50 60</td> <td>D種</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>芝、地被類</td> <td>20</td> <td>B種</td> <td>植栽範囲</td> </tr> </table> 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 植込み用土 現場発生土の良質土 客土 (畑土 黒土) 土壌改良材 行う (バーク堆肥 下水汚泥カス) 施工箇所 植込み部分 図示による	樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲	12m以上	100 120 150	A種	植込み部分	7~12m未満	80 100	B種	葉張りの範囲	3~7m未満	60 80	C種	(樹高7m以上)	3m未満	50 60	D種	図示	芝、地被類	20	B種	植栽範囲																																																
		樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲																																																																						
		12m以上	100 120 150	A種	植込み部分																																																																						
		7~12m未満	80 100	B種	葉張りの範囲																																																																						
3~7m未満	60 80	C種	(樹高7m以上)																																																																								
3m未満	50 60	D種	図示																																																																								
芝、地被類	20	B種	植栽範囲																																																																								
2 樹木の種類等 (23.3.2)	樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																						
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																								
3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)	支柱材 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太 _____ 幹巻き材料 幹巻き用テープ わら及びこも																																																																										
4 芝 (23.4.2) (23.4.3)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th colspan="3">芝 張 り の 工 法</th> <th rowspan="2">客 土</th> </tr> <tr> <th>平地</th> <th>切土法面</th> <th>盛土法面</th> </tr> <tr> <td>コウライシバ</td> <td>目地張り</td> <td>べた張り</td> <td>筋芝張り</td> <td>行わない</td> </tr> <tr> <td>ノシバ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>行う 畑土 黒土</td> </tr> </table>	種 別	芝 張 り の 工 法			客 土	平地	切土法面	盛土法面	コウライシバ	目地張り	べた張り	筋芝張り	行わない	ノシバ				行う 畑土 黒土																																																								
種 別	芝 張 り の 工 法			客 土																																																																							
	平地	切土法面	盛土法面																																																																								
コウライシバ	目地張り	べた張り	筋芝張り	行わない																																																																							
ノシバ				行う 畑土 黒土																																																																							

TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所	NO.	08
NAME	特記仕様書-7	SCALE	/	CHECK	PLAN	DRW
						A-08



敷地面積算定表			
記号	底辺	高さ	倍面積
①	26.56	2.82	74.8992
②	24.22	2.29	55.4638
③	27.61	11.56	319.1716
④	45.86	12.27	562.7022
⑤	60.36	6.15	371.2140
⑥	60.36	2.77	167.1972
⑦	53.04	4.74	251.4096
⑧	40.79	1.98	80.7642
⑨	37.48	0.79	29.6092
⑩	36.22	9.16	331.7752
⑪	21.97	4.30	94.4710
⑫	19.20	2.82	54.1440
⑬	18.01	4.42	79.6042
計			2,472.4254
1/2			1,236.2127
敷地面積			1,236.21㎡

	TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	09
	NAME	敷地面積算定表		SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW	A-09	



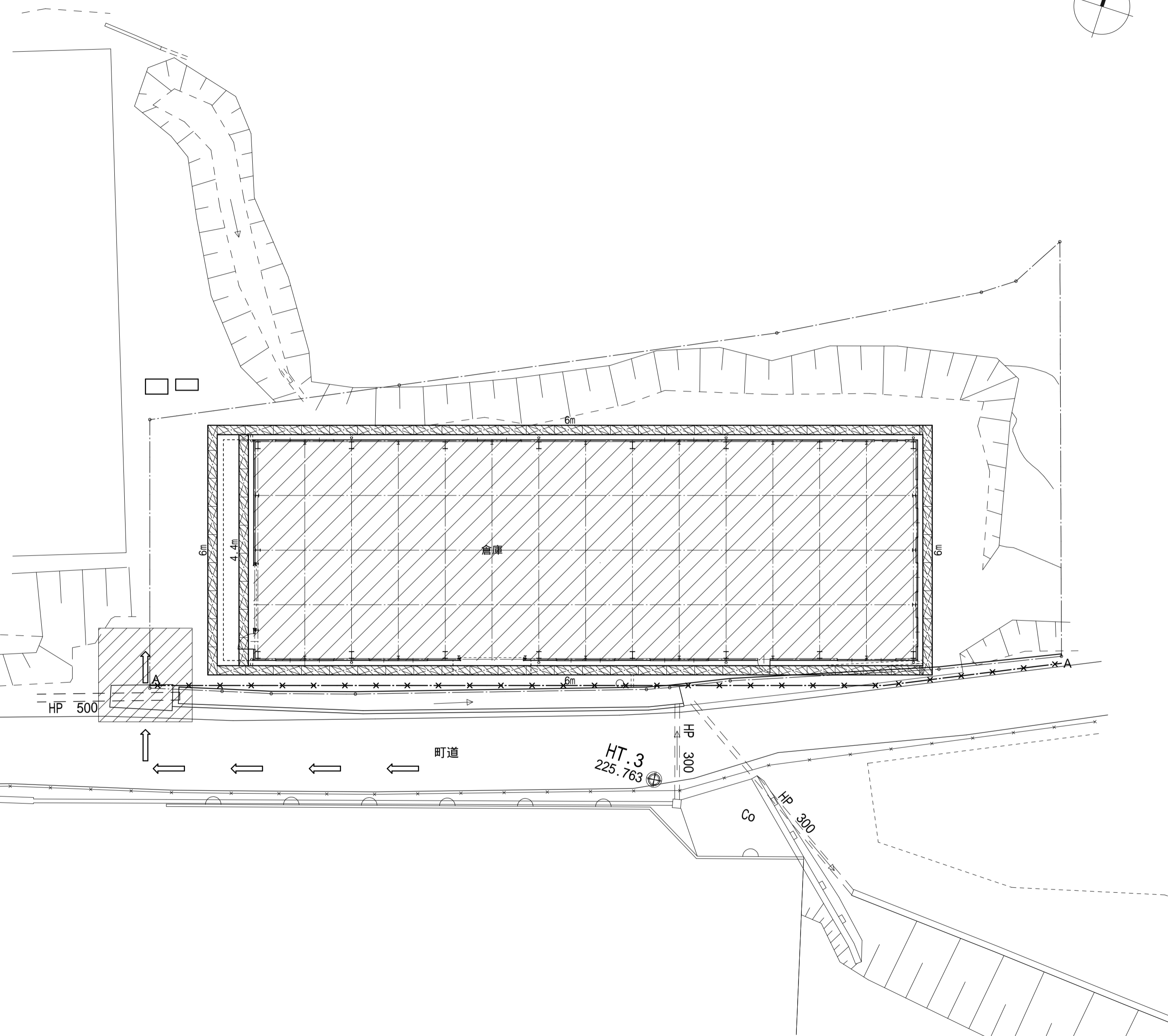
記号	計算式	面積 (㎡)
①	42.42 × 14.0	593.88
	計	593.88
	面積	593.88㎡
延床面積		593.88㎡

記号	計算式	面積 (㎡)
①	42.42 × 14.0	593.88
②	1.0 × 12.0	12.0
	計	605.88
	面積	605.88㎡
建築面積		605.88㎡

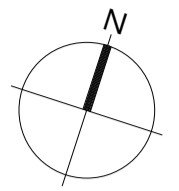
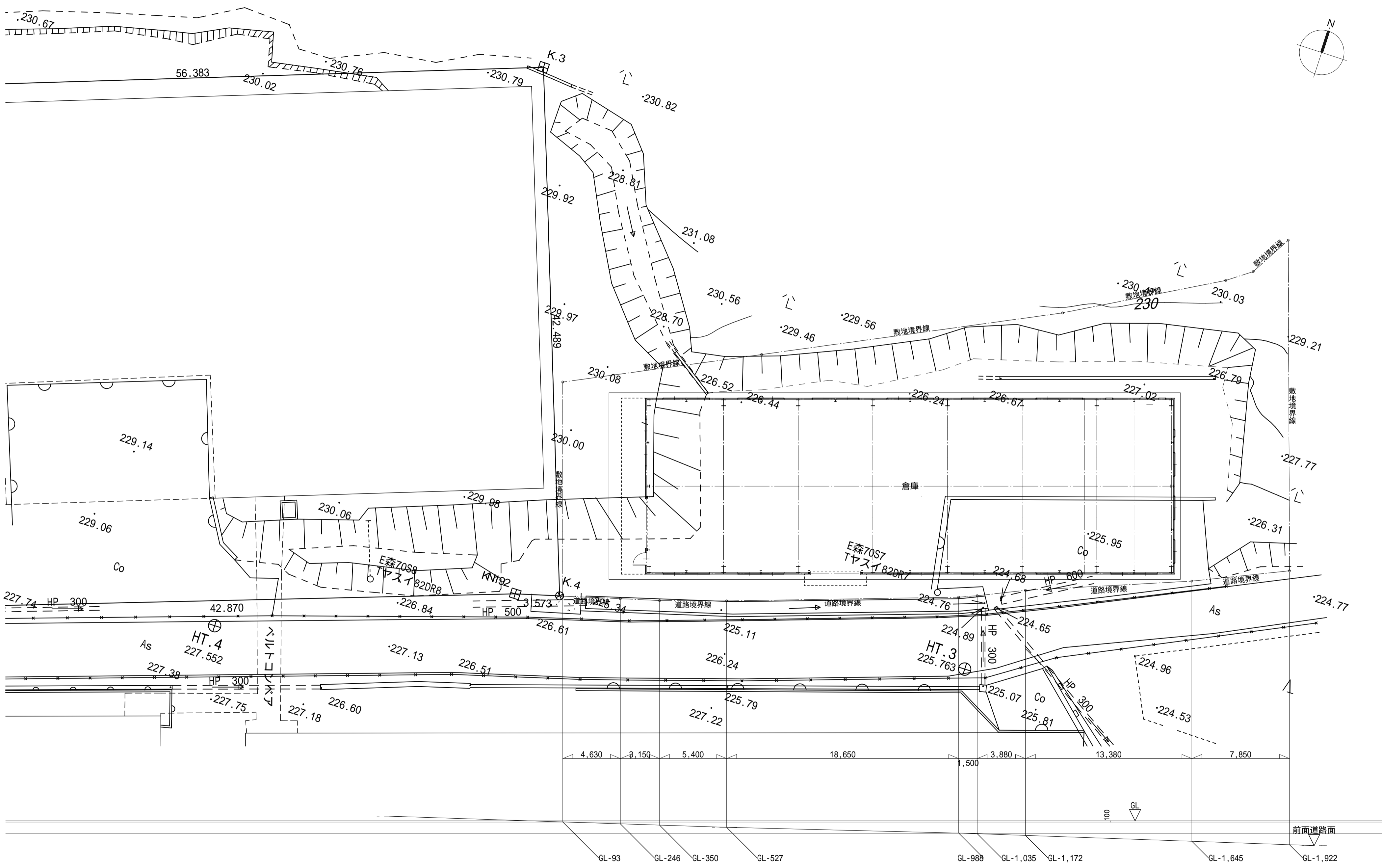
凡 例	
	工事対象建物を示す。
	仮囲い：750W 1000H=1800設置箇所を示す。(上部金網部シート張り) (本体等工事期間中)
	工車用車輛通行経路及び範囲 地元農業従事者が町道を利用するので、十分注意を払うこと。
	枠組足場W=600、手摺先行足場方式、墜落落下防止処置、足場全面養生シート張りとする。 足場高さは図示による。
	鉄板敷き養生 t 22範囲を示す。
	交通誘導員は工事期間に適宜配置とする。(下表注意事項4参照) 大型車輛搬入時等は増員すること。
	仮設便所 (現場作業員用)
	廃材用コンテナ設置場所

制約事項、注意事項 等	
1	本仮設計画図は参考図とする。
2	工事関係者以外が工事範囲及び危険な場所に立ち入らないように、図示以外にも必要に応じてフェンスバリケードやカラーコーン等を設置し、安全を期すること。
3	工事期間中も工事エリアから奥の農業倉庫等への出入りで農業従事者の町道の通行がある。大型車両での搬入時や建て方等でクレーンを使用する際は、通行の支障にならないように十分な注意を払うこと。 特に多少の支障をきたすと思われる時は、地元区長・地元農家組合長又は関係者との調整を要する。
4	工事車輛進入口には警備員を適宜配置させること。必要に応じて増員をすること。今回工事においては交通誘導員 B を工事期間中に最大20人・日見込む。但し遅しなかった場合には減額精算を行う。
5	工事車輛及び、工事に伴う作業において路面等に損傷をつけた箇所はすみやかに復旧すること。 又、工事完了後には入念に点検を行い、工事関連による損傷箇所は復旧を行うこと。
6	可燃物 (塗料等) は防火・防犯のため必要量のみ搬入し、残った物については毎日持ち帰ること。
7	レッカー作業時はカラーコーン等により周囲を囲い、必要に応じて警備員を配置すること。

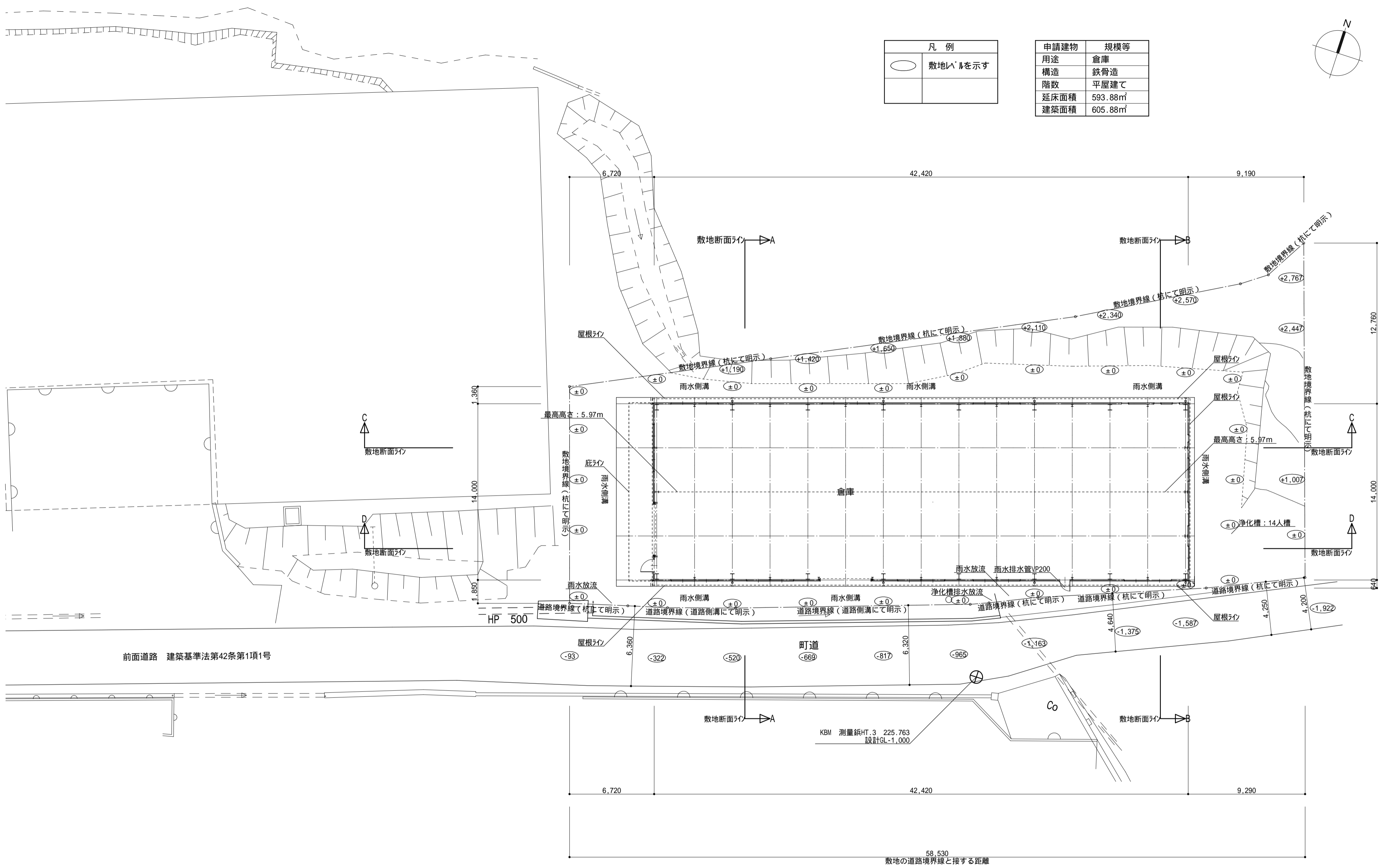
現況路面仕上げ凡例					
(AS)	- アスファルト舗装を示す	(土)	- 土敷きを示す	(芝)	- 芝生部分を示す



TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所	NO.	11
NAME	仮設計画図 (第1期工事)	SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW
						A-11

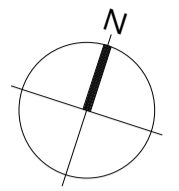


TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	DATE	2017年3月	CHECK	PLAN	DRW	NO.	12
	NAME		配置図(現況図)					SCALE
工事設計図		COA 有限会社 コア建築事務所						



凡例	
○	敷地レベルを示す

申請建物	規模等
用途	倉庫
構造	鉄骨造
階数	平屋建て
延床面積	593.88㎡
建築面積	605.88㎡



前面道路 建築基準法第42条第1項1号

KBM 測量紙HT.3 225.763
設計GL-1.000

1級建築士登録第102627号 羽生田英雄

TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	13
NAME	配置図		SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW		A-13

内部仕上表

	床	下地	幅木	高さ	壁	下地	天井	塗装	天井高	廻縁	備考
倉庫	コンクリート直コテ押工(増打t10)	土間コンクリートt200 ポリエチレンフィルムt=0.15 捨てコンクリートt50	コンクリート打放シ 補修 控室側間仕切り壁 ソフト幅木t2	200 75	外壁用鋼板、角波サイディング(裏面) 鉄部(鋼材):SOP塗り 控室側間仕切り壁せっこうボードt12.5 二重張りEP塗り	控室側間仕切り壁 間仕切り壁:軽量鉄骨壁 下地100型@450	折板(裏面) 鉄部(鋼材):SOP塗り		直天井		
	(控室)	コンクリート直コテ押工 複層ビニル床シートt2.5(マーブル)	土間コンクリートt200 ポリスチレンフォーム断熱材t50 ポリエチレンフィルムt=0.15 捨てコンクリートt50	75	ビニルクロス張り せっこうボードt12.5二重張り	間仕切り壁:軽量鉄骨壁 下地100型@450 外壁廻り壁:軽量鉄骨壁 下地65型@450 柱型共	LGS下地 せっこうボード張りt9.5下地 ロックール化粧吸音板張りt12凹凸タイプ		3,000	塩ビ突付	外壁、間仕切り壁、天井共ガラスウール t100・24kg/m3充填・敷込み 壁ガラスウールは天井までとする 間仕切り壁下部、一部コンクリート面はGL工法とする 24時間換気ガラリ:アルミ固定ルバー
(便所)	コンクリート直コテ押工 複層ビニル床シートt2.5(マーブル)	軽量コンクリートt260増打 土間コンクリートt200 捨てコンクリートt50	ソフト幅木t2	60	化粧けい酸カルシウム板張りT4 シーリングせっこうボードt12.5張り 構造用合板(特類)t9張り	間仕切り壁:軽量鉄骨壁 下地100型@450 外壁廻り壁:軽量鉄骨壁 下地65型@450 柱型共	LGS下地 けい酸カルシウム板張りt6 (タイプ2、無石綿、0.8FK) EP塗り		2,500	塩ビ突付	外壁、天井共ガラスウールt100・24kg/m3 充填・敷込み 壁ガラスウールは天井までとする 便所配管バック面台:マープライトカウンター-甲板
	(シャワー室)	コンクリート直コテ押工 複層ビニル床シートt2.5(マーブル)	シャワー室通路部分: 軽量コンクリートt260増打 (シャワールーム下部は無し) 土間コンクリートt200 捨てコンクリートt50	ソフト幅木t2	60	化粧けい酸カルシウム板張りT4 シーリングせっこうボードt12.5張り 構造用合板(特類)t9張り	間仕切り壁:軽量鉄骨壁 下地100型@450 外壁廻り壁:軽量鉄骨壁 下地65型@450 柱型共	LGS下地 けい酸カルシウム板張りt6 (タイプ2、無石綿、0.8FK) EP塗り	2,500	塩ビ突付	外壁、天井共ガラスウールt100・24kg/m3 充填・敷込み 壁ガラスウールは天井までとする
(通路)	コンクリート直コテ押工 複層ビニル床シートt2.5(マーブル)	軽量コンクリートt260増打 (階段部同材) 土間コンクリートt200 捨てコンクリートt50	ソフト幅木t2	60	ビニルクロス張り せっこうボードt12.5二重張り	間仕切り壁:軽量鉄骨壁 下地100型@450 外壁廻り壁:軽量鉄骨壁 下地65型@450 柱型共	LGS下地 せっこうボード張りt9.5下地 ロックール化粧吸音板張りt12凹凸タイプ		2,500	塩ビ突付	外壁、控室側間仕切り壁、天井共ガラスウール t100・24kg/m3充填・敷込み 壁ガラスウールは天井までとする 階段すべり止め金具ステンレス製、W35、ゴム入り 24時間換気ガラリ:アルミ固定ルバー

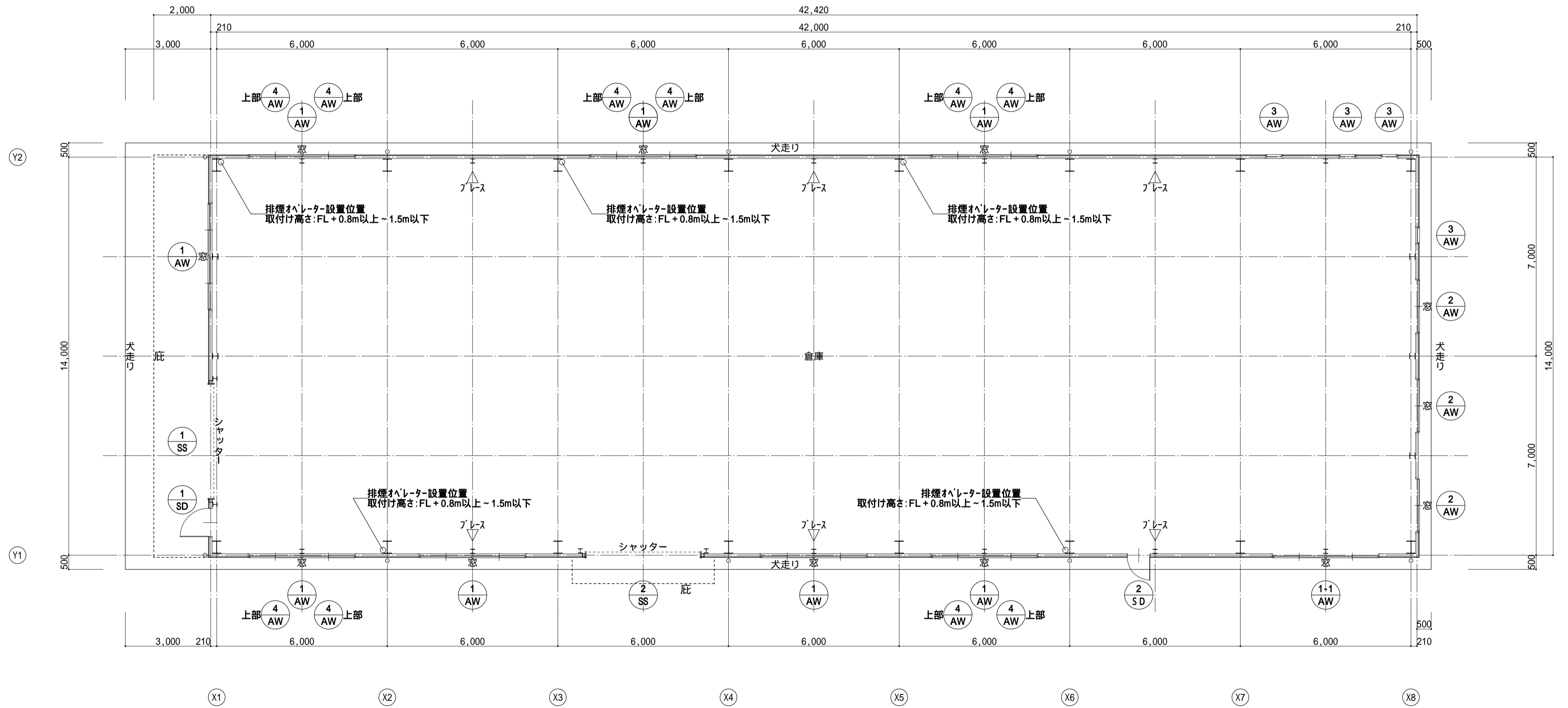
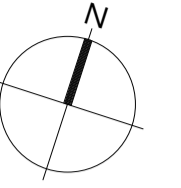
外部仕上表

屋根	ガルバリウム塗装鋼板t=0.8、山高166mmハゼ 裏貼りポリエチレンフォームt4	外壁	外壁用化粧鋼板t=0.5 ヨド角波サイディング700型、ガルバリウム塗装鋼板	幅木	モルタル塗り刷毛引き 壁取り合い部:水切 ガルバリウム塗装鋼板t=0.4	軒樋	硬質塩化ビニール製 W200 折板用 既製品(カラー) 吊金具、集水器
	棟押え・ケラバ包み・壁取合水切鉄板:ガルバリウム塗装鋼板		外壁コーナー役物:外壁同材				
	軒先面戸166、水上面戸166、軒先化粧フレーム		外壁上部廻縁:外壁同材	犬走り	コンクリート直コテ押工	縦樋	硬質塩化ビニール管カラーVP125 掴み金物(亜鉛引き)@1,000内外
	樋吊金具						
庇	ガルバリウム塗装鋼板t=0.8、山高166mmハゼ ケラバ包み・壁取合水切鉄板:ガルバリウム塗装鋼板						
	軒先面戸166、水上面戸166、軒先化粧フレーム						
	樋吊金具						

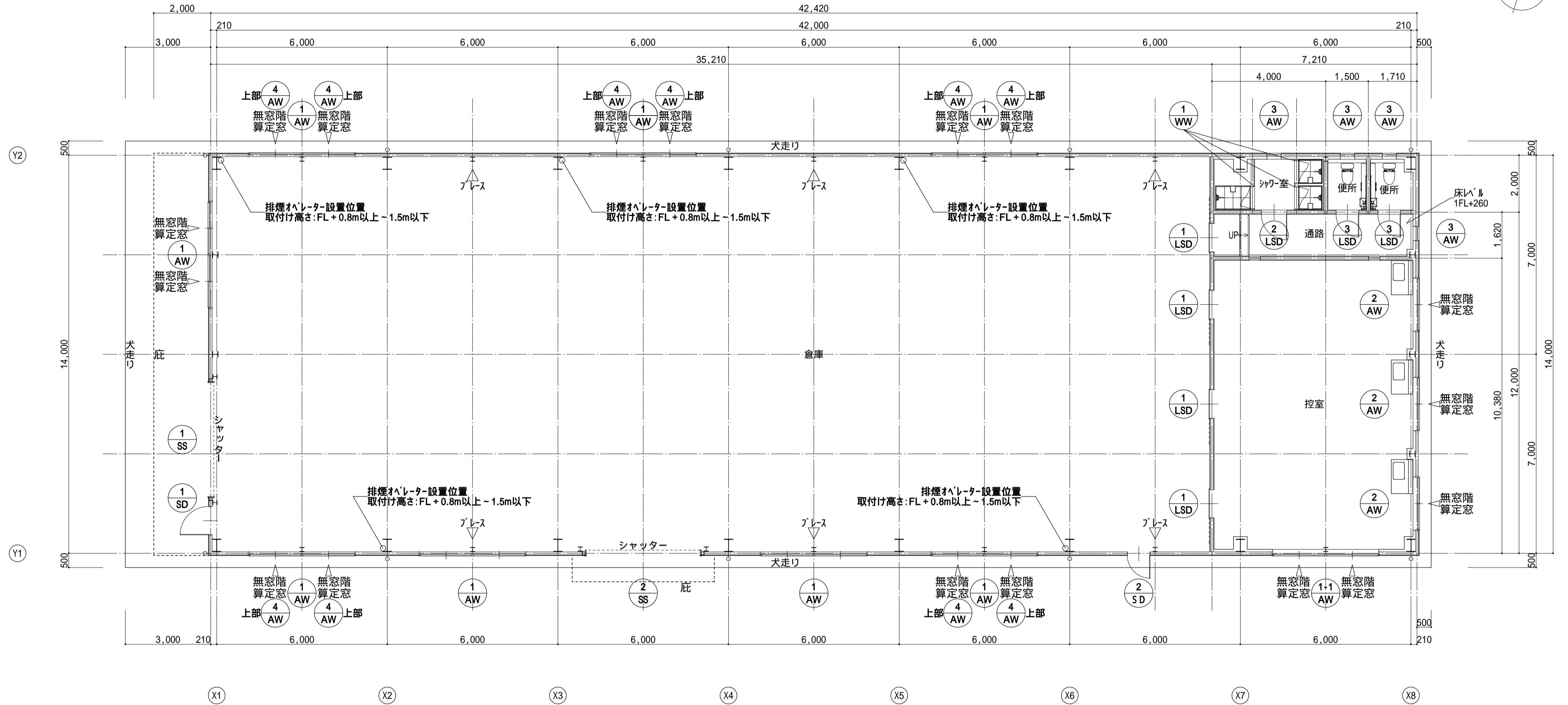
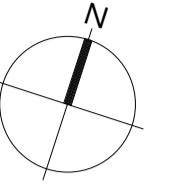
当該建築物に使用する指定建築材料は、建築基準法第37条の規定によるものとする。
屋根ガルバリウム鋼板大臣認定番号:NM-8697

屋根ガルバリウム鋼板大臣認定番号:NM-8697

TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	14
NAME	仕上表		SCALE	/	CHECK	PLAN	DRW	A-14	



TITLE 京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図		DATE 2017年3月	COA 株式会社 コア建築事務所		NO. 15
NAME 平面図		SCALE 1/100	CHECK	PLAN	DRW
					A-15



$1.8 \times 1.4 \times 5 = 12.6$

$1.8 \times 1.4 \times 1/2 \times 5 = 6.3$

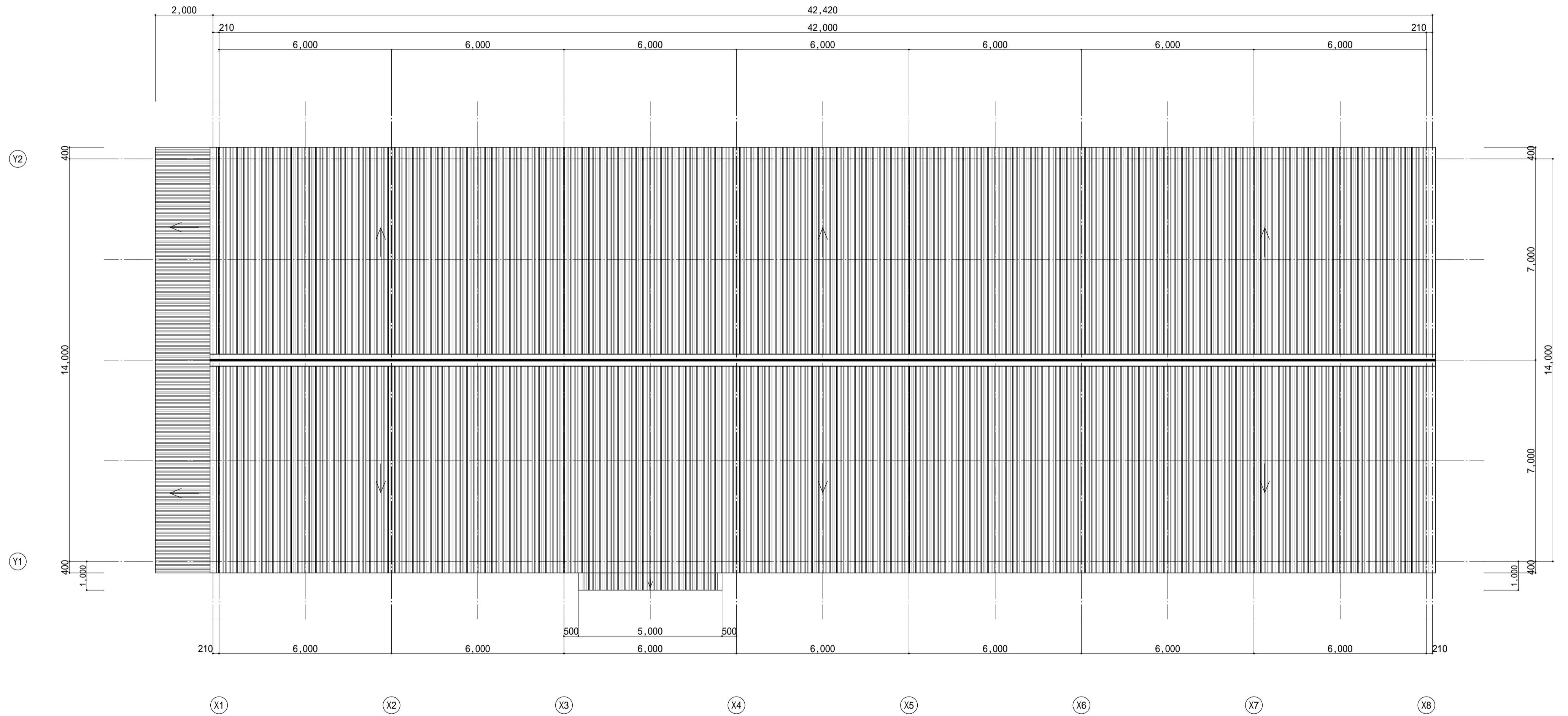
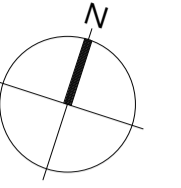
$1.8 \times 0.4 \times 1/2 \times 5 = 1.8$

延床面積	42.42 × 14.0 = 593.88㎡ × 1/30 = 19.796㎡
開口部面積	1.8 × 1.4 × 1/2 = 1.26㎡ × 17 = 21.42㎡
判定	21.42㎡ > 19.80㎡ 消防無窓階とならない

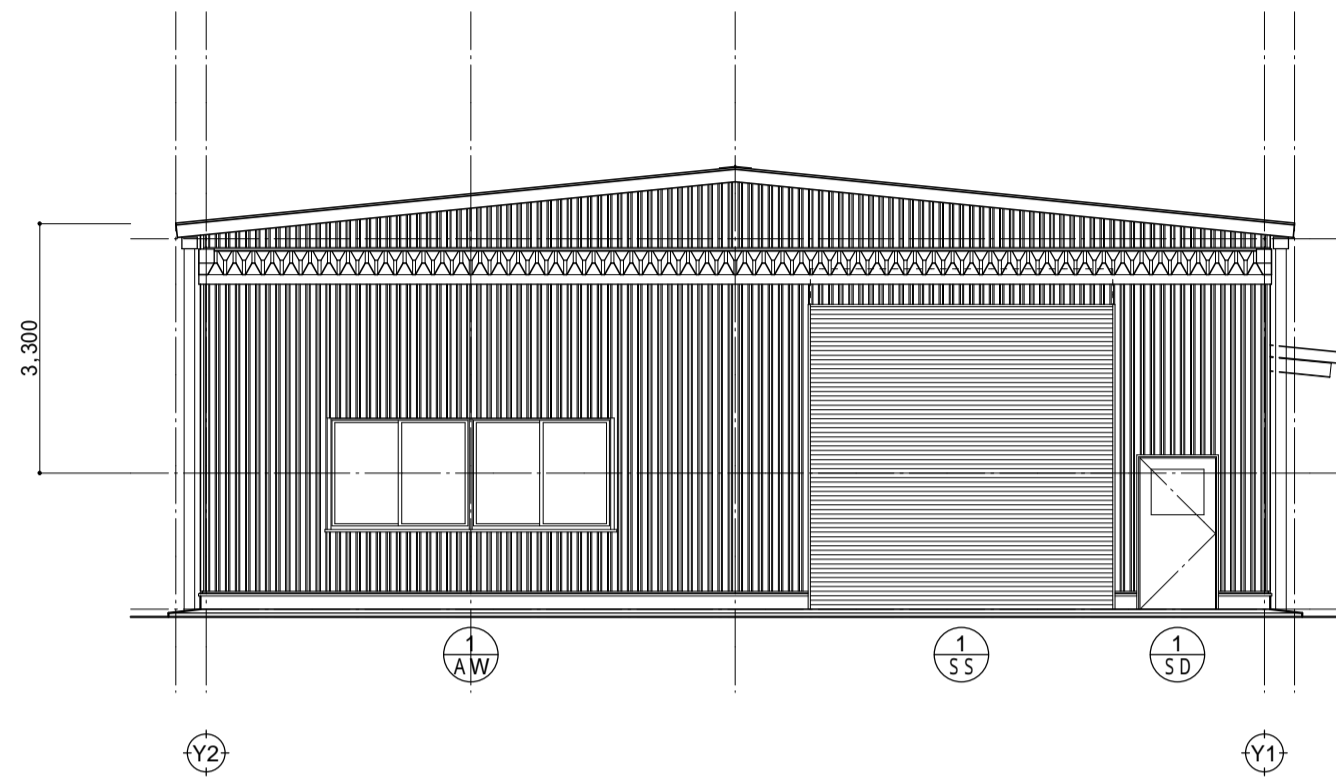
室名	室面積	採光 (1/7)	現状	採光補正係数	有効採光面積	換気 (1/20)	現状	排煙 (1/50)	現状
休憩室	7.21 × 10.38 = 74.83㎡	10.69㎡	12.6	3	37.8	3.74㎡	6.3	1.49㎡	1.8
倉庫	35.21 × 14.0 = 492.94㎡							9.85㎡	11.2

延床面積	593.88㎡ (179.65坪)
建築面積	605.88㎡ (183.27坪)
控室床面積	74.84㎡ (22.64坪)
倉庫床面積	492.94㎡ (149.11坪)

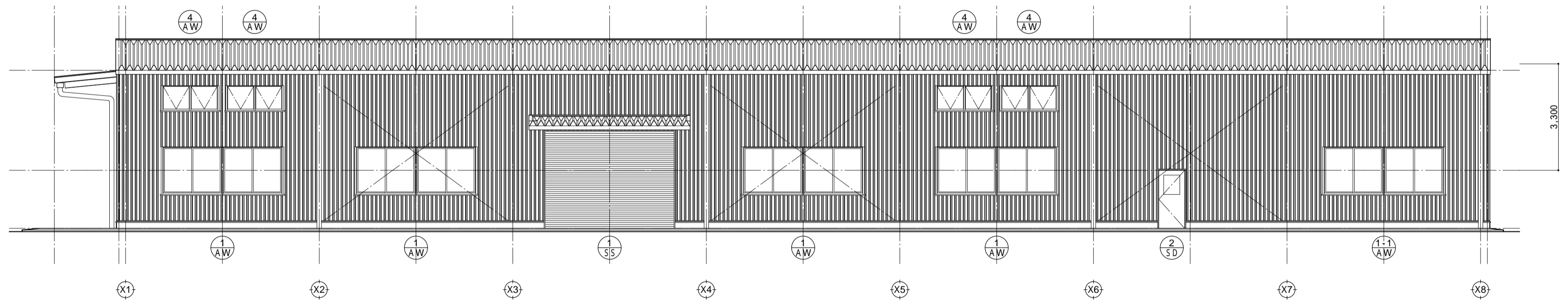
$0.8 \times 0.7 \times 2 \times 10 = 11.2$



TITLE 京丹波町映画等口ヶ地倉庫新築 工事設計図		DATE 2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所		NO. 17
NAME 屋根伏図		SCALE 1/100	CHECK	PLAN	DRW
					A-17

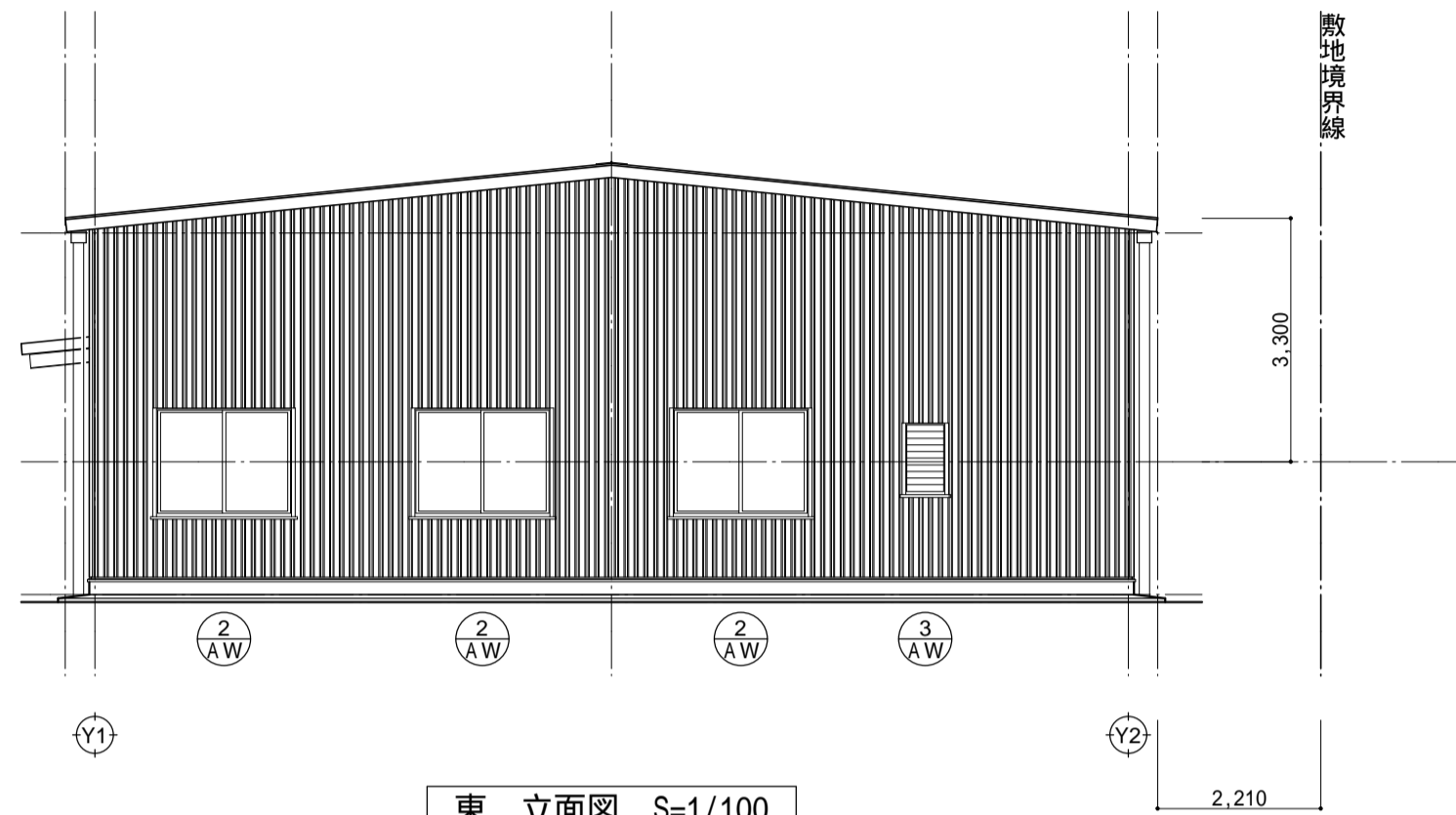


西 立面图 S=1/100

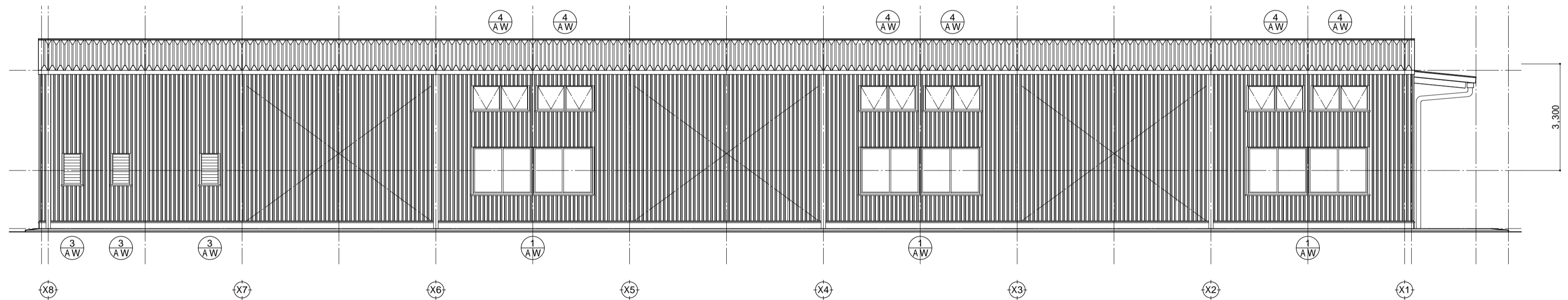


南 立面图 S=1/100

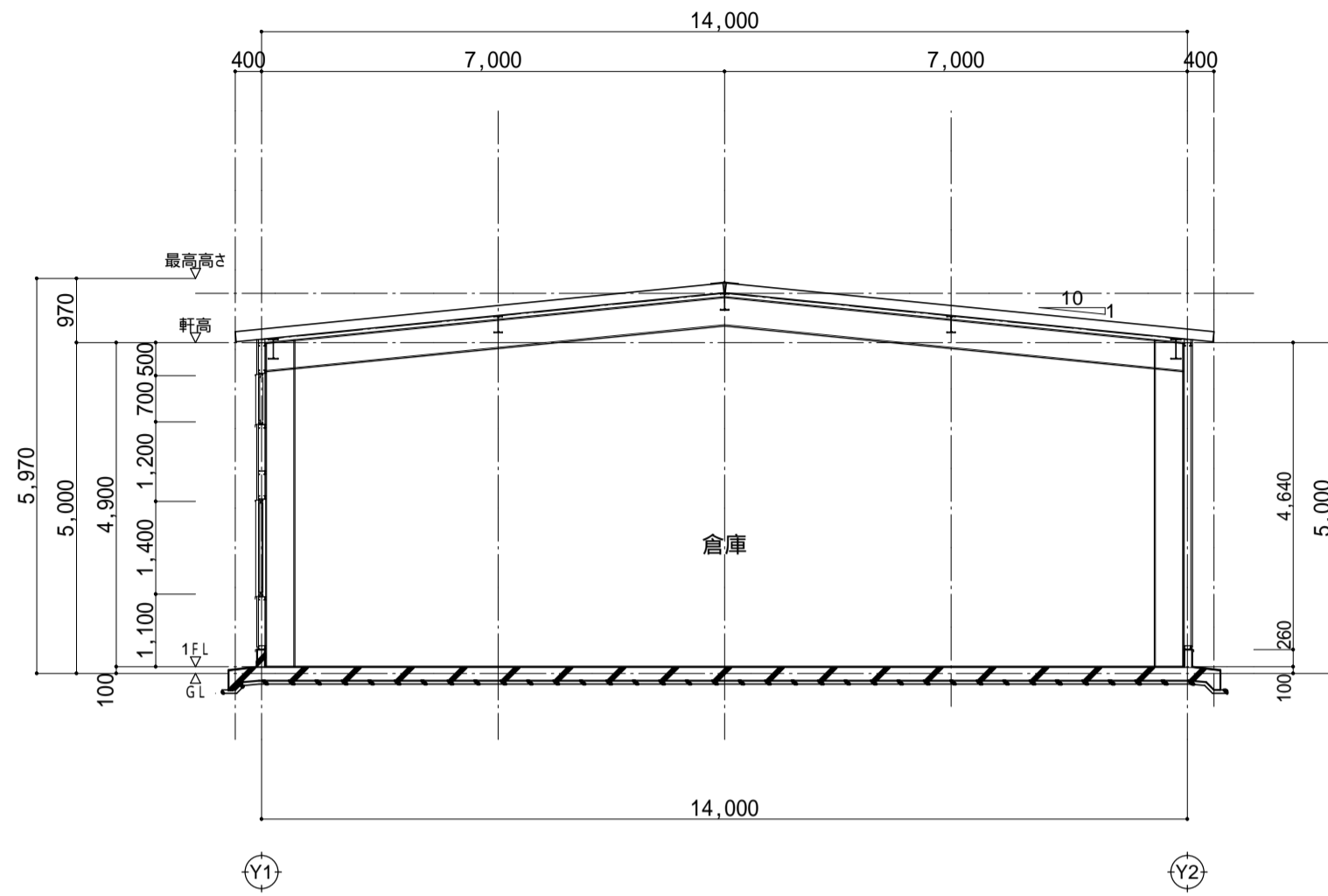
	TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	18
	NAME	立面图-1		SCALE	1/100	CHECK	PLAN	DRW	A-18	



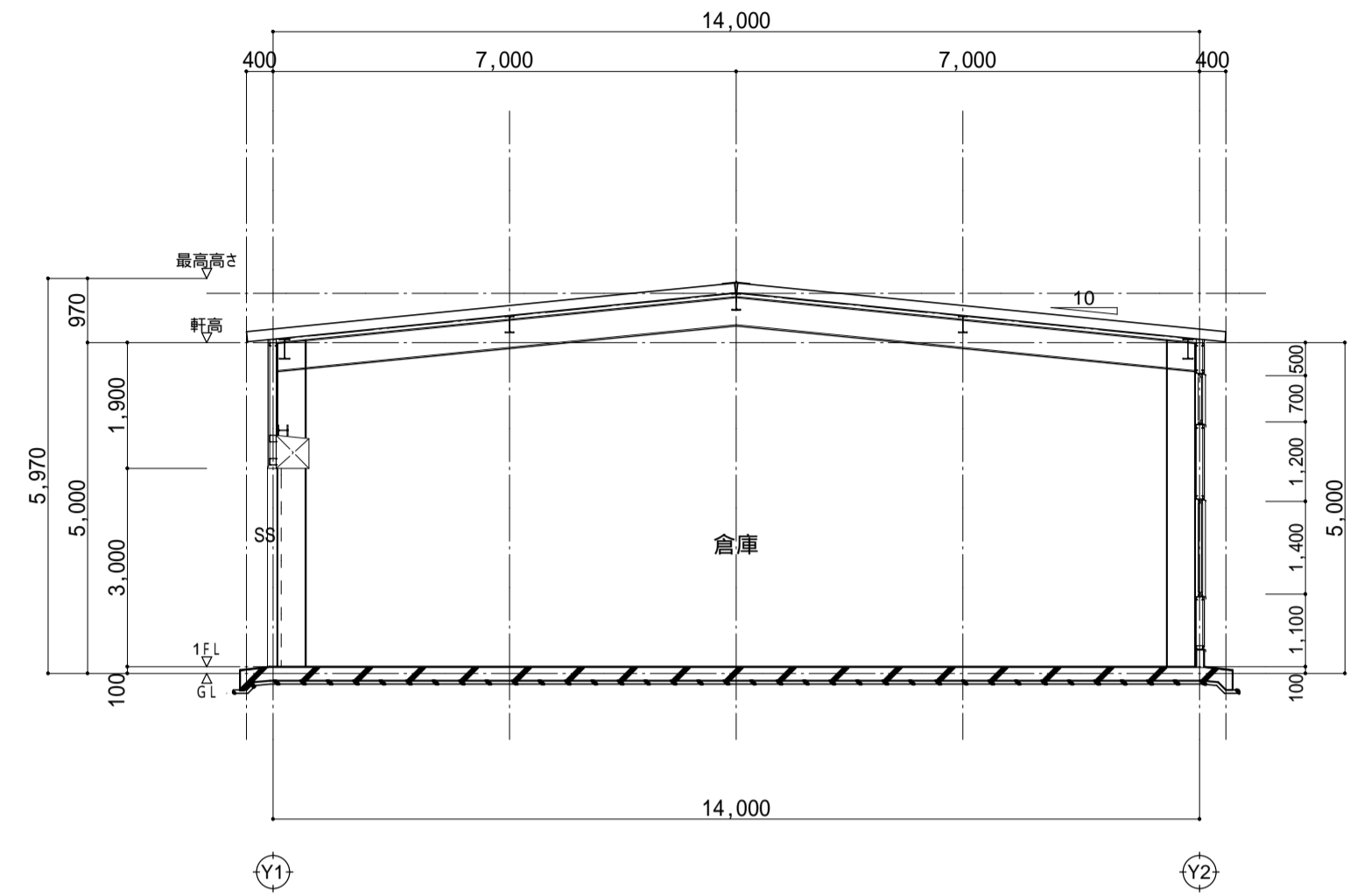
$A = 2,210 / 3,300 \times 10 - 1 = 5.7 > 3$
 他の窓は上記窓より水平距離が長い為に計算を割愛



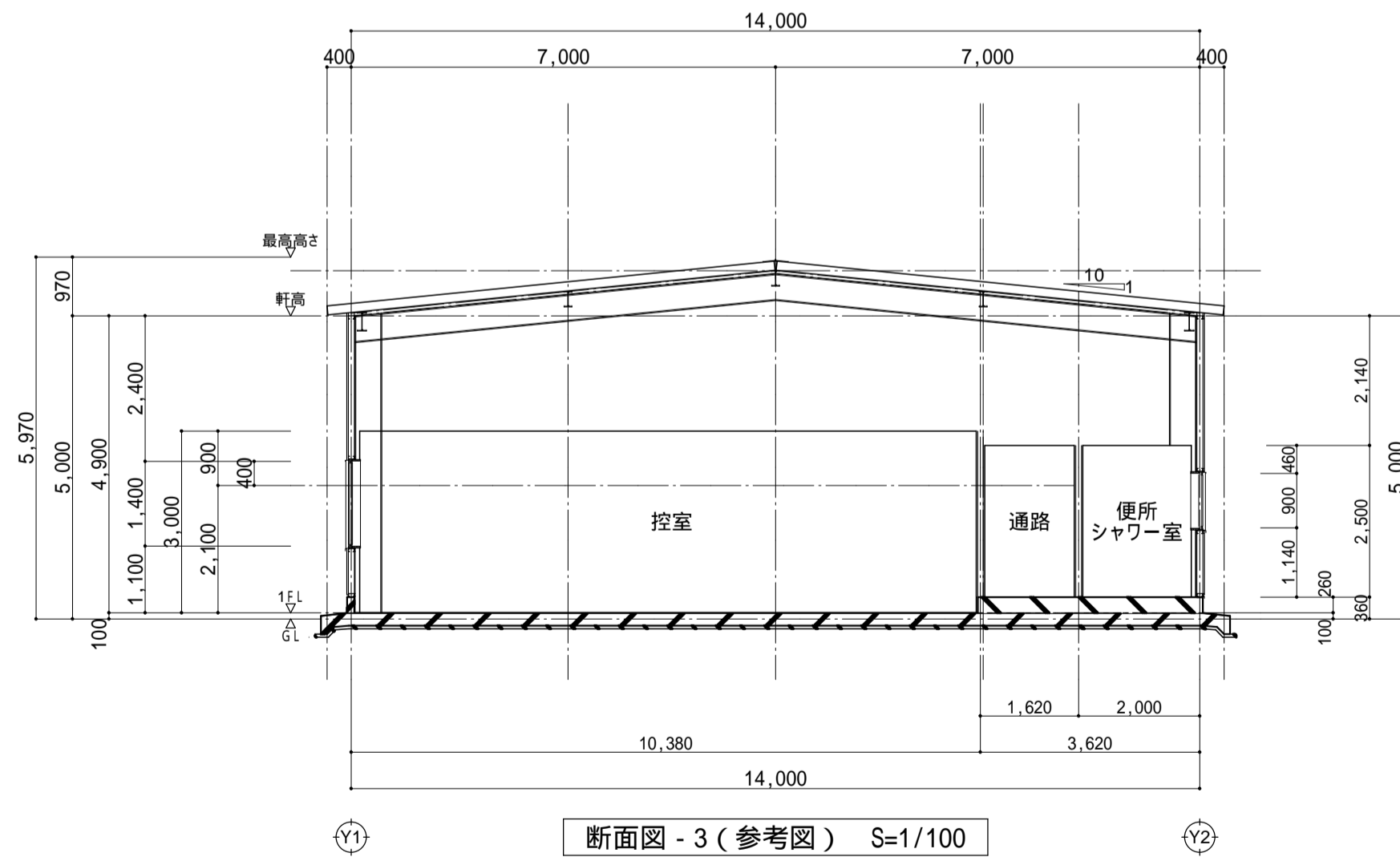
	TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所	NO.	19
	NAME	立面図-2		SCALE	1/100		CHECK	PLAN



断面図 - 1 S=1/100

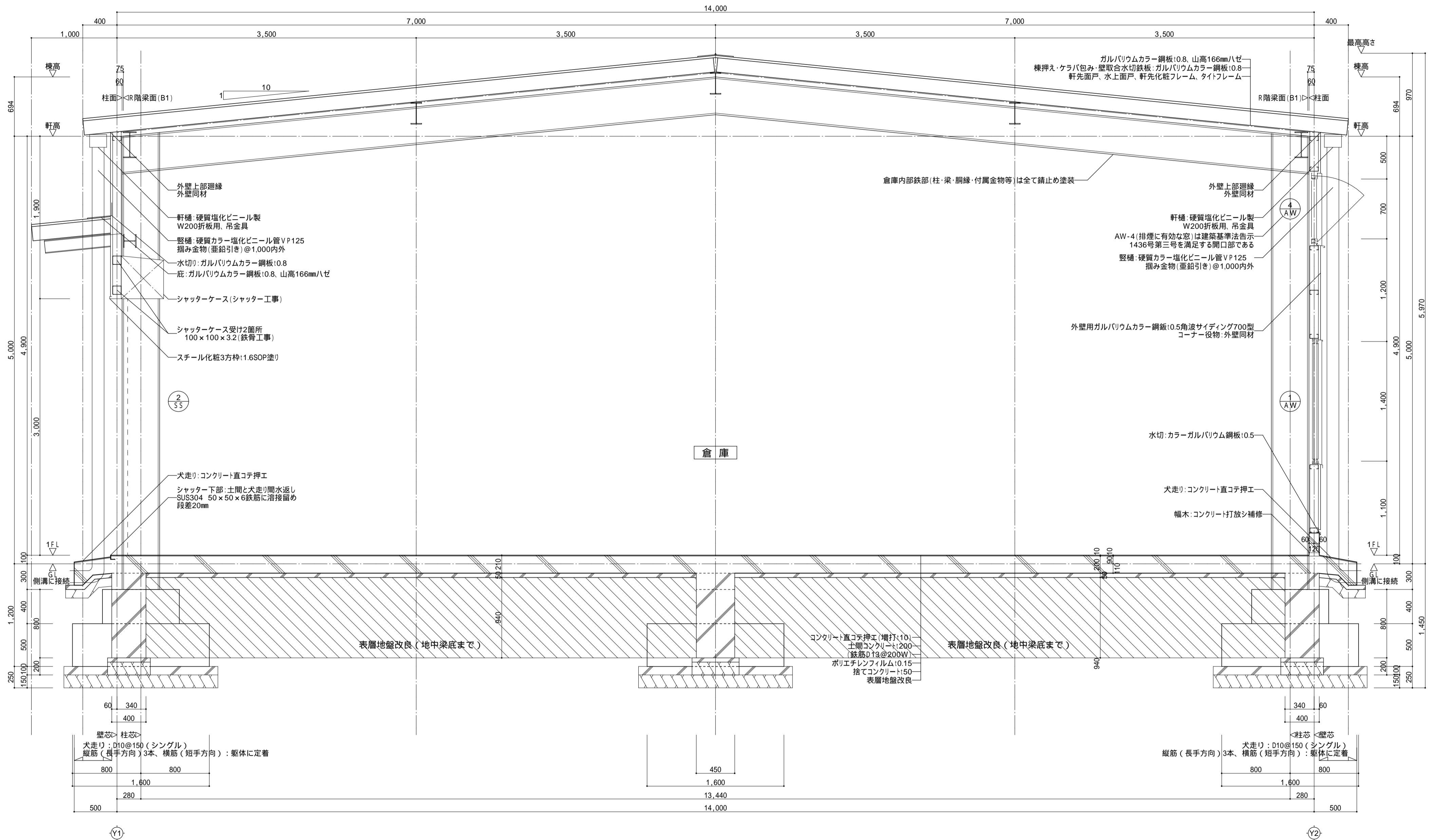


断面図 - 2 S=1/100



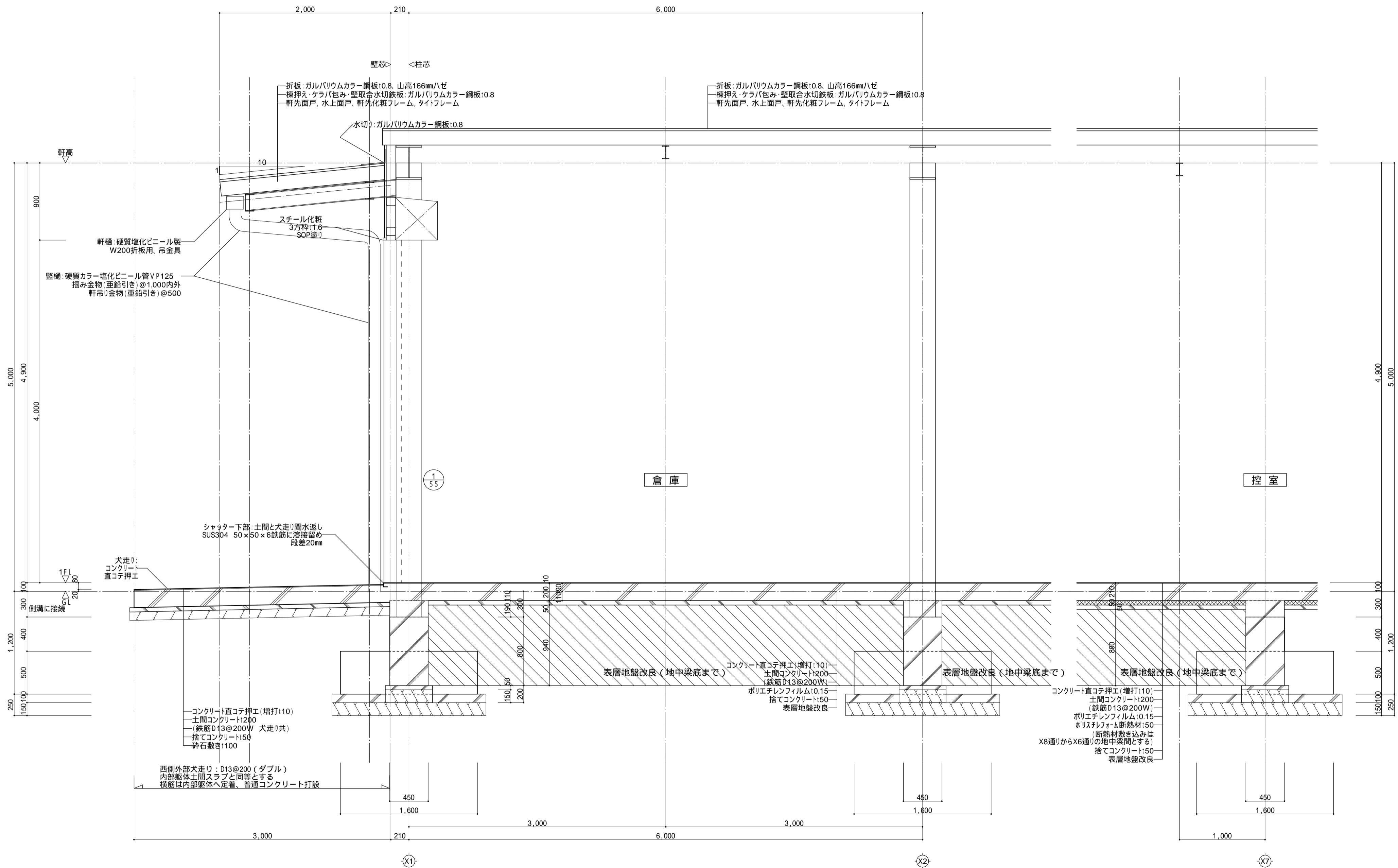
断面図 - 3 (参考図) S=1/100

TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA	有限会社	コア建築事務所	NO.	20
NAME	断面図		SCALE	1/100	CHECK	PLAN	DRW		A-20



矩計詳細図-1 1/30

TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所	NO.	21
NAME	矩計詳細図-1	SCALE	1/30	CHECK	PLAN	DRW
						A-21



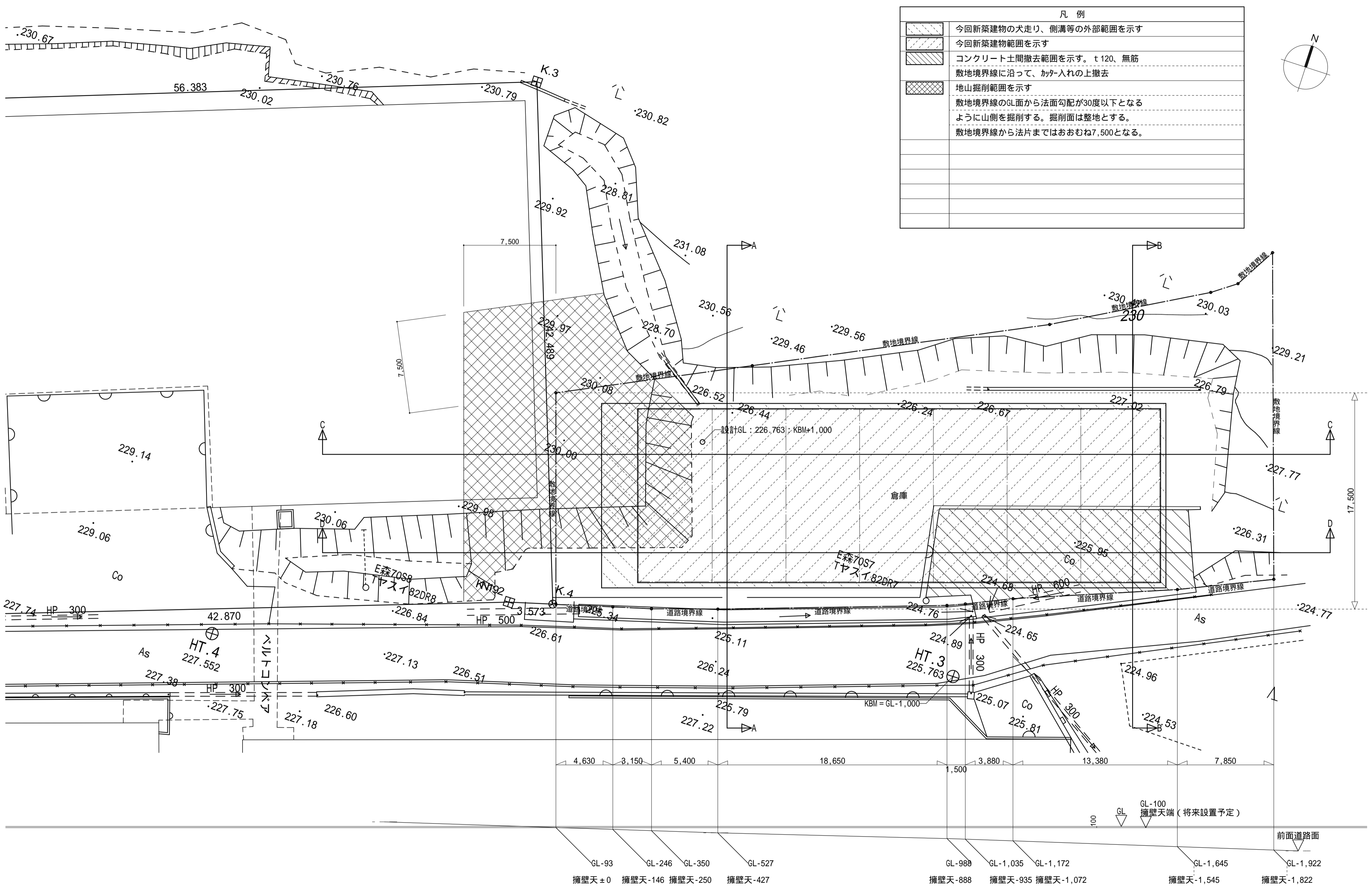
矩計詳細図-2 1/30

TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所		NO.	22
NAME	矩計詳細図-2	SCALE	1/30	CHECK	PLAN	DRW	A - 22

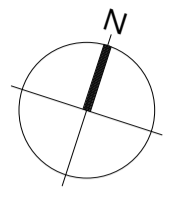
建具表

符号	形状	数量	① AW	2連引違い窓	9 ケ所	② AW	引違い窓	3 ケ所	③ AW	可動式ガラス扉窓	4 ケ所	④ AW	2連外倒し窓	10 ケ所	○	ケ所	① SS	手動軽量シャッター	1 ケ所	② SS	手動軽量シャッター	1 ケ所								
位置	倉庫8箇所、AW1-1: (控室1箇所)					控室					通路、便所、シャワー室					倉庫上部(排煙窓)					倉庫					倉庫				
姿図																														
材料・仕上	アルミ製、アルマイト仕上					アルミ製、アルマイト仕上					アルミ製、アルマイト仕上					アルミ製、アルマイト仕上					カラー鋼板					カラー鋼板				
見込	70					70					70					70														
硝子	網入り型板ガラス t6.8mm					網入り型板ガラス t6.8mm					網入り型板ガラス t6.8mm					網入り型板ガラス t6.8mm														
金物	標準金物一式					標準金物一式					標準金物一式					標準金物一式					標準金物一式、シリンダー錠、シャッターケース					標準金物一式、シリンダー錠、シャッターケース				
備考	AW1-1のみ4方枠(175×25)(枠)CL(別途)取付け用アルミアンクルビスは本工事					4方枠(175×25)(枠)CL(別途)取付け用アルミアンクルビスは本工事					4方枠(110×25)(枠)CL(別途)取付け用アルミアンクルビスは本工事					オペレーター(60度以上開口)					外部スチール化粧枠t1.6(外壁との仕舞い)					外部スチール化粧枠t1.6(外壁との仕舞い)				
符号	形状	数量	① SD	片開きフラッシュ戸	1 ケ所	② SD	片開きフラッシュ戸	1 ケ所	○	ケ所	① LSD	軽量鋼製片引き吊り戸	4 ケ所	② LSD	軽量鋼製片開き戸	1 ケ所	③ LSD	軽量鋼製片開き戸	2 ケ所	① WW	木製三方枠	3 ケ所								
位置	倉庫					倉庫					控室入口					シャワー室					便所					シャワーユニット入口				
姿図																														
材料・仕上	スチール、SOP					スチール、SOP					化粧鋼板t0.6(芯材:ペーパーコア)					化粧鋼板t0.6(芯材:ペーパーコア)					化粧鋼板t0.6(芯材:ペーパーコア)					木製三方枠 25×150				
見込	30					30					36					36					36					150				
硝子	網入り型板ガラス t6.8mm					網入り型板ガラス t6.8mm										型板ガラス t6mm					型板ガラス t6mm					型板ガラス t6mm				
金物	標準金物一式、シリンダー本錠錠 ドアチェック、レバーハンドル					標準金物一式、シリンダー本錠錠 ドアチェック、レバーハンドル										引違棒、上吊り車、ガイドレール、シリンダー錠 サムターン					ドアチェック、レバーハンドル、シリンダー錠、サムターン 戸当り					ドアチェック、レバーハンドル、表示錠、戸当り				
備考	外部スチール化粧枠(外壁との仕舞い) ステンレス沓摺、戸当り					外部スチール化粧枠(外壁との仕舞い) ステンレス沓摺、戸当り										アルミガラリ(有効開口面積:0.04㎡以上)					アルミガラリ(1箇所当りの有効開口面積0.03㎡以上)					WP塗装				

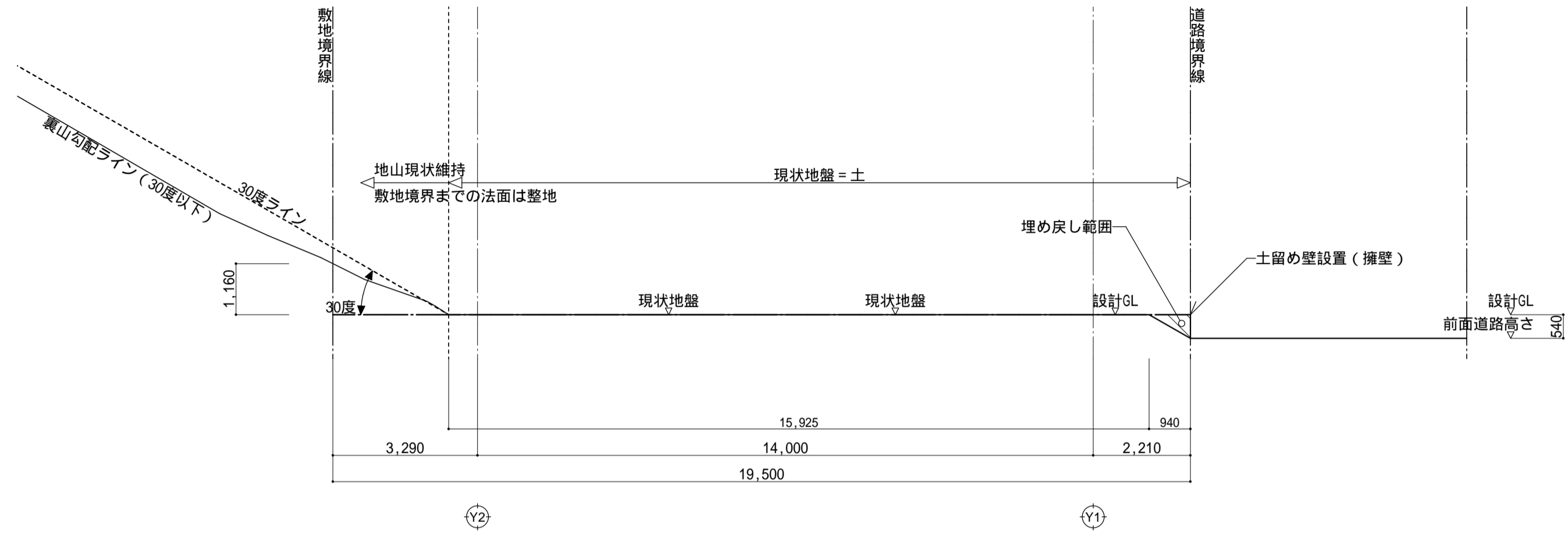
TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA	有限会社	コア建築事務所	NO.	23
NAME	建具表		SCALE	1/100	CHECK	PLAN	DRW		A-23



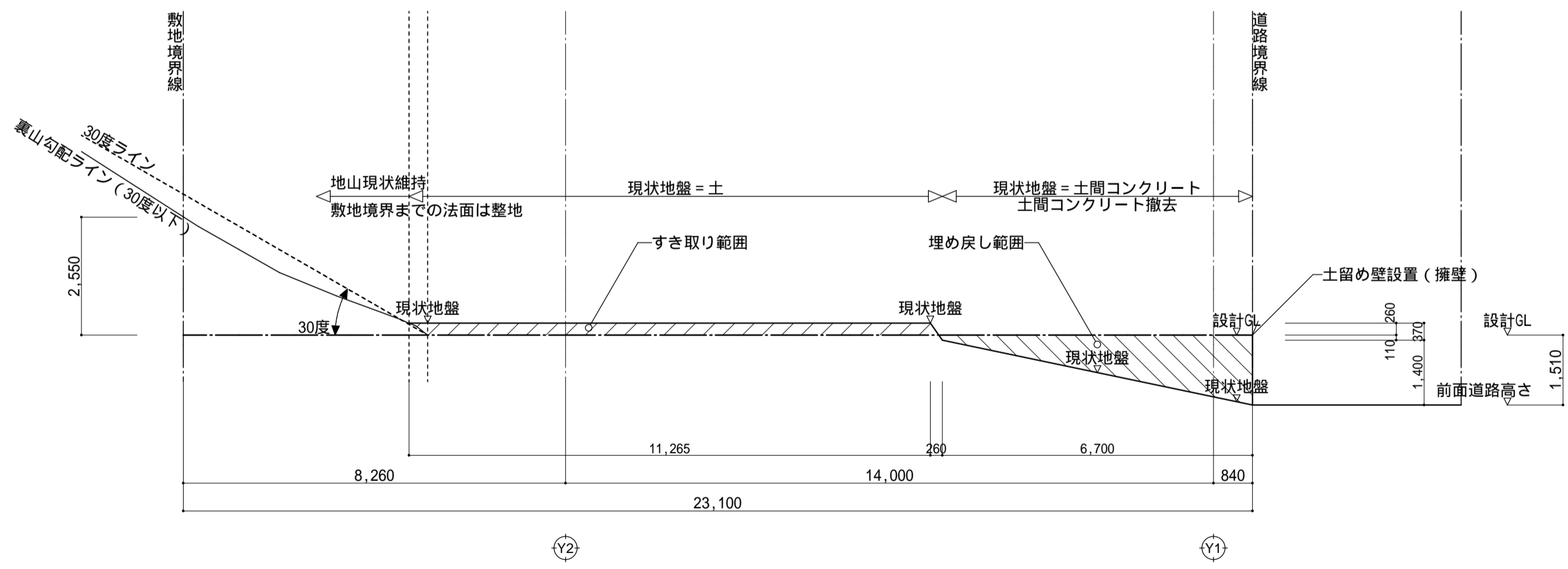
凡例	
	今回新築建物の犬走り、側溝等の外部範囲を示す
	今回新築建物範囲を示す
	コンクリート土間撤去範囲を示す。t 120、無筋 敷地境界線に沿って、カッター入れの上撤去
	地山掘削範囲を示す 敷地境界線のGL面から法面勾配が30度以下となる ように山側を掘削する。掘削面は整地とする。 敷地境界線から法片まではおおむね7,500となる。



TITLE	京丹波町映画等口ケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	24
NAME	外構配置図		SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW	A-24	

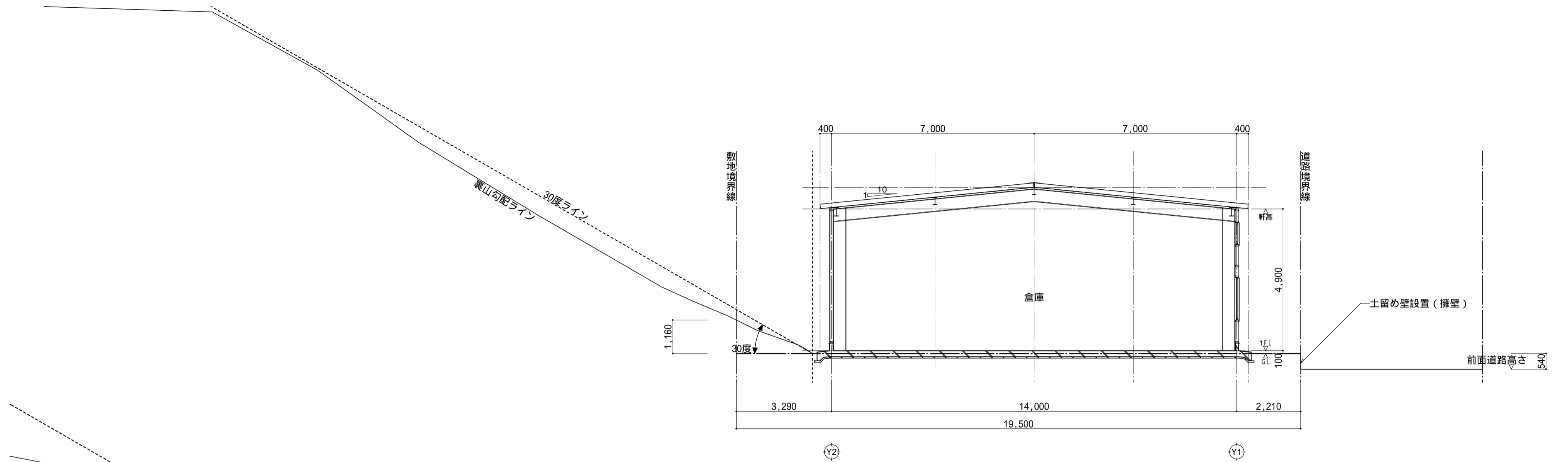


A-A 現状地盤縦断面図 1/100

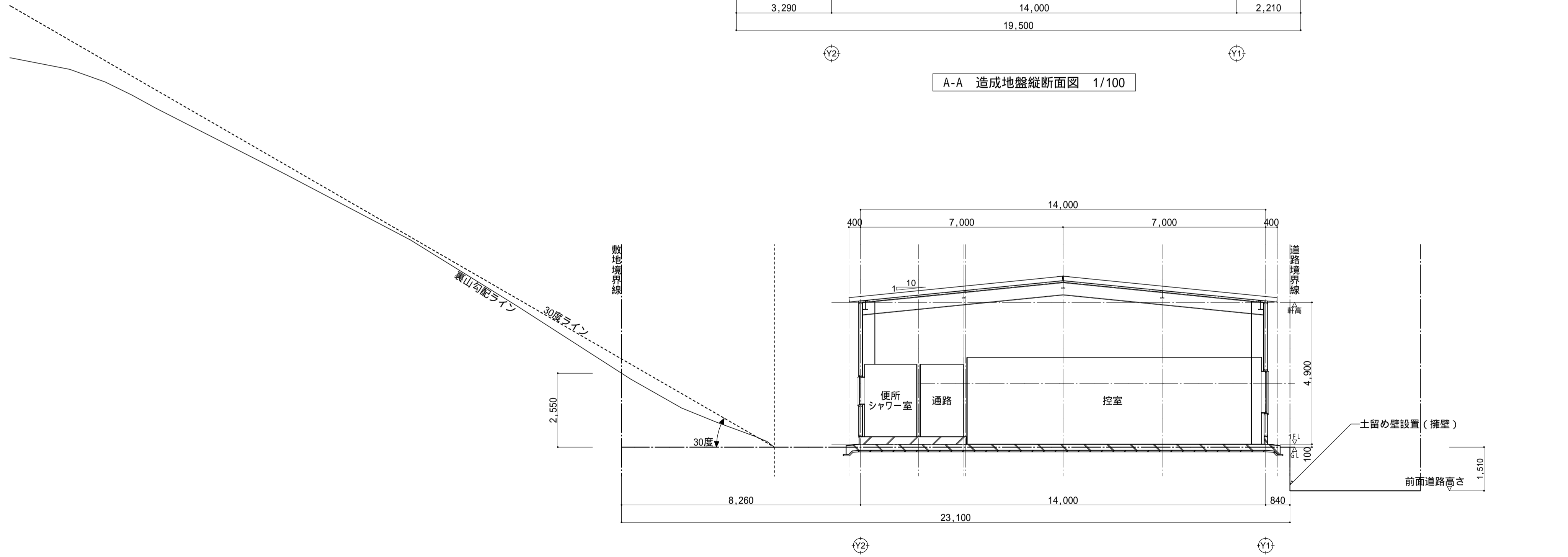


B-B 現状地盤縦断面図 1/100

TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	25
NAME	敷地縦断面図-1 (現況図)	SCALE	1/100	CHECK	PLAN	DRW	A-25	



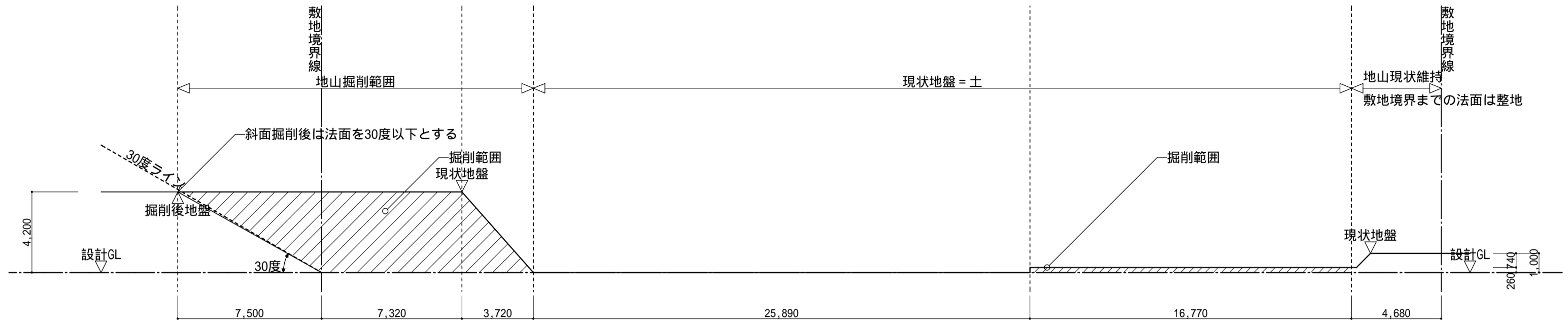
A-A 造成地盤縦断面図 1/100



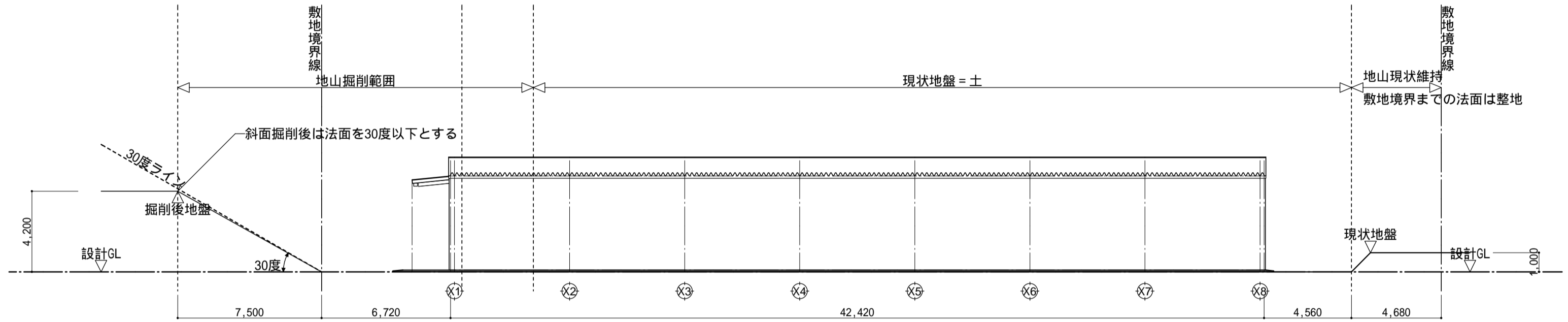
B-B 造成地盤縦断面図 1/100

TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築	工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	26
NAME	敷地縦断面図-2 (造成後)		SCALE	1/100	CHECK	PLAN	DRW	A-26	

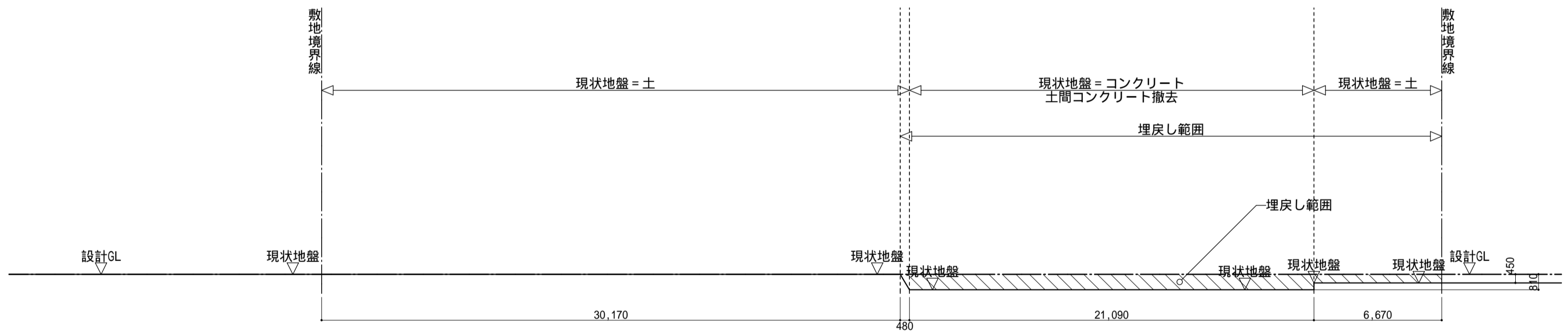
C-C 現状地盤横断面図 1/200



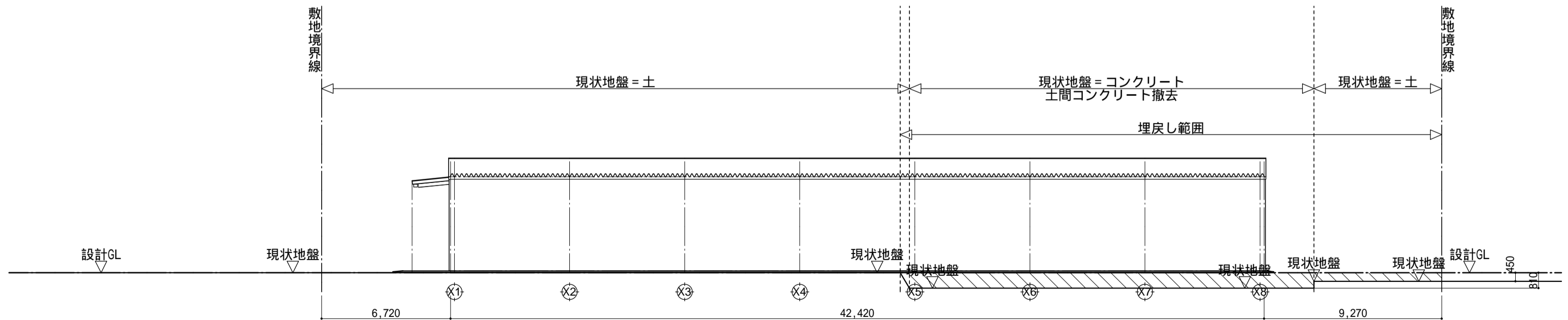
C-C 造成地盤横断面図 1/200



D-D 現状地盤横断面図 1/200



D-D 造成地盤横断面図 1/200



TITLE	京丹波町映画等ロケ地倉庫新築 工事設計図	DATE	2017年3月	COA 有限会社 コア建築事務所			NO.	27
NAME	敷地横断面図 (現況図 造成後)	SCALE	1/200	CHECK	PLAN	DRW	A-27	